

令和2年度

# 入学者選抜に関する要項



国立大学法人

岐阜大学

- 
- \* 教育学部
  - \* 地域科学部
  - \* 医学部
  - \* 工学部
  - \* 応用生物科学部

令和元年 7 月

## 目 次

Ⅰ	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ	募集人員	4
Ⅲ	出願資格	6
Ⅳ	岐阜大学入学資格審査	7
Ⅴ	障害等のある者の出願にあたっての事前相談	9
Ⅵ	入学者選抜方法等	10
	1. 一般入試の入学者選抜方法等	10
	2. 特別入試の入学者選抜方法等	12
	3. 一般入試の実施教科・科目及び配点等	14
	4. 大学入試センター試験の受験を要する教科等	25
	(1) 一般入試	25
	ア 前期日程	25
	イ 後期日程	27
	(2) 推薦入学Ⅱ特別入試	29
	5. 一般入試の実技検査・小論文・面接	33
	6. 特別入試の入試方法等	35
	(1) 推薦入学特別入試	35
	(2) 社会人特別入試	43
	(3) 帰国生特別入試	45
	(4) 私費外国人留学生特別入試	46
Ⅶ	学生募集要項・大学（学部）案内の入手方法等	48

### 一般入試および推薦入試Ⅱ(センター試験を課す)学生募集要項の入手方法および出願方法

昨年度からインターネットを利用した出願になりました。

これに伴い、学生募集要項は本学ホームページに電子ファイル(PDF形式)で掲載し、冊子による配布は行いません。本学への出願はインターネットの専用サイトから各自で登録していただきます。

ただし、一部の出願書類は郵便により提出していただく必要があるため、必要な様式は本学ホームページに電子ファイルで掲載しますので、各自でダウンロードしたうえで作成し郵送していただきます。

これらの情報は11月下旬以降に本学ホームページ「入試案内」でお伝えします。

# I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

## ◎ 岐阜大学

岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。

1. 知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぶとする人
2. さまざまな見方や論理的な考え方ができる人
3. 相手の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人
4. 積極的に課題を探索しようとする人
5. これからの地域や国際社会で活躍したい人

## ◎ 教育学部

### <基本理念>

岐阜大学教育学部は、岐阜県を中心として活躍する、優れた専門的知見と指導能力をもつ教員、ならびに社会の多様な学習要求に応える教育専門職及び教育関係者の養成を目的とする学部です。本学部は、教育を通じて、平和で豊かな世界の実現に貢献する人材を育成します。

### <求める学生像>

#### [知識・技能]

大学での学修に必要な教科・科目の基礎知識、実技系においてはその基礎的実践能力を有する人

#### [思考力・判断力]

知識・技能を批判的に継承しつつ、多様かつ創造的な思考・判断ができる人

#### [表現力]

子どもや保護者をはじめ社会の様々な人の声に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる能力をもつ人

#### [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

大学ならびに教育実践の場における様々な学修を通じて、自ら進んで他者と協働し、教職に対するよりよい理解を得ようとする人

#### [その他の教育学部が求める要素]

- ・豊かな人間性の上に、教育に対する情熱と責任感を有する人
- ・岐阜県を中心とした教育現場で活躍できる人

選抜方法及び入試区分		学力の3要素等				
		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の教育学部が求める要素
選抜方法ごとの見方	前期日程	センター試験	◎	○		
		個別学力試験	○	◎	○	
		実技検査（音・美・体）	◎		◎	
	後期日程	面接（美術のみ）	◎	○	◎	◎
		センター試験	◎	○		
		個別学力試験（音・体を除く）	○	◎	○	
	推薦Ⅱ	実技検査（音・体）	◎		◎	
		センター試験	◎	○		
		推薦書	○	○	○	○
		岐阜県教員を目指す学修計画書				◎
面接		個人	◎	○	◎	○
集団				○	◎	◎
音楽歴調書（音）		◎				
作品（美）	◎		◎			
運動歴調書（体）	◎					
調査書	○					

◎：最重点評価項目，○：重点評価項目

## ◎ 地域科学部

### <教育理念・目標>

地域科学部は、「地域」がキーワードとなるさまざまな社会的及び文化的課題について、人文科学、社会科学ならびに自然科学の基礎学力をもとにして、総合的に考究する能力を育てることを目標としています。これにより発展的な地域創成や、豊かな社会形成に貢献でき、リーダーシップを発揮できる人の育成を目指します。

### <求める学生像>

このような理念・目標のもと本学部の学生には、主に次のような資質を持っていることを望みます。

1. 人間社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。
2. 物事をさまざまな視点から総合的かつ論理的に考えることができる。
3. 自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。
4. 他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現する能力を持っている。
5. 幅広い学問分野を学びながら、自己の専門分野を次第に決定してゆきたいという意欲を持っている。

### <学力の3要素について>

本学部は、学力の3要素のどの要素も重視しています。知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、その他の要素を相互に関連付け、相互に補い合うように学んでくることを期待しています。

#### [知識・技能]

人間・社会の営みや自然との関わりに基礎的な知識、技能を持っている。

#### [思考力・判断力]

さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考えることができる。

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

#### [表現力]

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

#### [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

[その他の要素]

人間・社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		その他の要素
選抜方法及び入試区分					(a)	(b)	
センター試験	一般(前期・後期), 推薦Ⅱ	○	○				
英語または数学	一般(前期)	○	○	○		○	○
小論文	一般(前期・後期), 推薦Ⅰ, 社会人, 帰国生	○	○	○		○	○
面接	推薦Ⅰ, 推薦Ⅱ, 社会人, 帰国生	○	○	○		○	○

## ◎ 医学部 医学科

<教育理念>

岐阜大学医学部医学科は、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って教育・研究・臨床に邁進しています。その理念の下に医学の基礎と高度な専門知識・技能を有し、世界と地域の医療・医学の発展に貢献できる優れた医療人・医学研究者を育成することを最大の使命としています。

<求める学生像>

1. 広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人
2. 自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人
3. 協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人
4. 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人
5. 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
6. 責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人

[思考力・判断力]

自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人

[表現力]

協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

- (a) 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人
- (b) 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
- (c) 責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
選抜方法及び入試区分					(a)	(b)	(c)
センター試験	一般, 推薦Ⅱ	○	○				
個別学力試験	一般	○	○				
面接	一般, 推薦Ⅱ	○	○	○	○	○	○
小論文	推薦Ⅱ	○	○	○	○	○	○
調査書等	一般, 推薦Ⅱ	○			○	○	○

## ◎ 医学部 看護学科

<教育理念・目標>

看護学科は、看護学をはじめ保健・医療・福祉の各分野に貢献できる人間性豊かで倫理観に富む資質の高い看護の専門職を養成するとともに、看護学の教育研究の推進も目指します。

少子高齢社会の到来や疾病構造の変化など、保健・医療・福祉分野が担う役割は複雑化、高度化しています。さらに活躍の場は医療施設にとどまらず、地域へと拡大しています。看護学科では、保健・医療・福祉に関する深い関心を持った学生を求めています。以下のような資質が必要となります。

<求める学生像>

- ・看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人
- ・身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人
- ・他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人
- ・看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
- ・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人
- ・自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人

[思考力・判断力]

身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人

[表現力]

他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人

・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人  
[その他の要素]

自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
センター試験	一般（前期・後期）	○	○			
個別学力試験	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（後期）、推薦Ⅰ、社会人		○	○	○	○
面接	一般（後期）、推薦Ⅰ、社会人		○	○	○	○
調査書	推薦Ⅰ	○			○	○

## ◎ 工学部

<教育目的>

工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養います。同時に、専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育みます。これにより、人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成を目指します。

<求める学生像>

本学部では、21世紀の社会を支える先端的な工業技術に対する深い関心があり、以下のような資質を持った学生を求めています。

1. 先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、新しい発想ができる人
3. 相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人
4. 知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人
5. 国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

多様な入試を実施し、個性の異なる学生を受け入れて積極的に活性化を図っています。

<学力の3要素について>

[知識・技能]

先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人

[思考力・判断力]

理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、創造性豊かな発想ができる人

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人

[その他の要素]

国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
センター試験	一般、推薦Ⅱ	○	○			
個別学力試験	一般	○	○	○		
面接	推薦Ⅱ		○	○	○	○
調査書	推薦Ⅱ	○	○		○	

## ◎ 応用生物科学部

<求める学生像>

応用生物科学部は、応用生物科学の学理を修得し、生物産業の発展や持続可能な生物生産、人間を含む生態系の保全および人と動物との共生などの分野で活用することによって、より良い社会を実現したいと考える学生を求めています。

このためには、大学での学修に必要な基礎知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性など資質が必要です。

応用生物科学部では、これらの資質を多様な入試制度で判定し、応用生命科学課程、生産環境科学課程及び共同獣医学科の具体的な目標の達成のために強い意欲を持って学習に励む人材を受け入れます。

<学力の3要素について>

[知識・技能]

応用生物科学の学理の理解に必要な基礎能力

[思考力・判断力]

科学的な思考、科学的な根拠に基づいた適切な判断

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分の考えを的確に伝える

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

課題に対する知的好奇心、独創的な取り組み、他者との協調性

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性
選抜方法及び入試区分					
センター試験	一般、推薦Ⅱ	◎	○		
個別学力試験	一般	○	◎	○	
面接	推薦Ⅰ、Ⅱ		○	◎	◎
小論文	推薦Ⅰ、Ⅱ	○	◎	◎	○
調査書	推薦Ⅰ、Ⅱ	○			○

◎は特に重視している項目を示しています。

## Ⅱ 募集人員

学部・学科等名			入学定員	募 集 人 員						
				一 般 入 試		特 別 入 試				
				前期日程	後期日程	推薦入学Ⅰ	推薦入学Ⅱ	社会人	帰国生	
教 育 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	国語教育	24 <sup>人</sup>	19 <sup>人</sup>	3 <sup>人</sup>		2 <sup>人</sup>			
		※1 社会科教育	36	28			8			
		数学教育	24	16	6		2			
		※1 理科教育	36	20	7		9			
		音楽教育	12	7	3		2			
		美術教育	10	6			4			
		保健体育	16	7	7		2			
		技術教育	10	6	4					
		家政教育	12	8	2		2			
		英語教育	24	14	7		3			
		学校 教育	心理学コース	15	8	4		3		
			教職基礎コース	11	8			3		
		特別支援教育	20	15	3		2			
計			250	162	46		42			
地 域 科 学 部	地域政策学科		(50)							
	地域文化学科		(50)	60	21	6	10	2	1	
	計 ※2		100	60	21	6	10	2	1	
医 学 部	医 学 科		※3 110	37	25		※3 48			
	看護学 科		80	42	20	15		3		
	計		190	79	45	15	48	3		
工 学 部	社会基盤 工学科	環境コース	60	24	24	ア) 10	イ) 2			
		防災コース								
	機械 工学科	機械コース	130	35	35	8	2			
		知能機械コース								
	化学・生命 工学科	物質化学コース	150	36	35	12	2			
		生命化学コース								
	電気電子・情報 工学科	電気電子コース	170	33	34	6	2			
情報コース										
応用物理コース										
計			510	222	214		※4 74			
応 用 生 物 科 学 部	応用生命科学課程		80	57	10	3	10			
	生産環境科学課程		80	50	10	5	15			
	共同獣医学科		30	26			4			
	計		190	133	20	8	29			
合 計			1,240	656	346	29	203	5	1	

(注)・ この表中、推薦入学Ⅰは大学入試センター試験を課さない推薦入試、推薦入学Ⅱは大学入試センター試験を課す推薦入試を示します。

#### 【教育学部】

- ※1 a 教育学部の社会科教育講座及び理科教育講座の2講座には、それぞれ次の専攻があります。
- ① 社会科教育講座：「史学」、「地理学」及び「現代社会」の3専攻
  - ② 理科教育講座：「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻
- b 教育学部の一般入試（前期日程）における上記aの社会科教育講座の合格者については、合格者発表時において、志願者の専攻の志望順位及び試験成績を考慮し、各講座の募集人員をそれぞれ1/4（現代社会専攻は1/2）を目安に、推薦入学の合格者数を考慮して各専攻に割り振ります。
- c 教育学部の一般入試（前期日程・後期日程）における上記aの理科教育講座の合格者については、専攻を区別せず講座単位で合格者を発表します。所属専攻は、本人の志望と1年次の成績を考慮し、2年次前学期に入るときに各専攻に割り振ります。
- d 教育学部の推薦入学Ⅱ特別入試では、社会科教育講座については史学専攻、地理学専攻は各2人、現代社会専攻は4人を募集します。理科教育講座については物理学専攻、化学専攻、生物学専攻は各2人、地学専攻では3人を募集します。

#### 【地域科学部】

- ※2 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。  
所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。

#### 【医学部】

- ※3 医学部医学科の推薦入学Ⅱ特別入試の募集人員48人には、地域枠推薦28人を含みます。（38ページ参照）  
なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請予定の人数であり、変更があり得ます。

#### 【工学部】

- a 工学部の一般入試では、入学定員を学科ごとに定めていますが、学生募集は以下のとおり行います。
- ① 社会基盤工学科：募集は学科として行います。（所属コースは3年次進級時に決定します。）
  - ② その他の学科：募集はコースごとに行います。
- b 一般入試に出願する際に、志望することのできる学科は1つのみであり、その学科の中で複数コースを選択することが可能です。（社会基盤工学科を除く。）
- ※4 工学部の推薦入学Ⅱ入試の募集人員は、「選抜の対象」により異なります。
- 選抜の対象 ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者  
イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者
- 詳細は、40ページで確認してください。
- ・ 次の入試で欠員が生じた場合は、それぞれ指定の入試でその欠員を補充します。
- a 教育学部の推薦入学Ⅱ特別入試の欠員→同学部の前期日程で補充
  - b 地域科学部の推薦入学Ⅰ及びⅡ並びに社会人及び帰国生特別入試の欠員→同学部の特別入試及び前期日程で補充
  - c 医学部医学科の推薦入学Ⅱ特別入試の欠員→同学科の前期日程で補充
  - d 医学部看護学科の推薦入学Ⅰ及び社会人特別入試の欠員→同学科の前期日程で補充
  - e 工学部の推薦入学Ⅱ特別入試の欠員→同学部の各コース別に前期日程で補充
  - f 応用生物科学部の推薦入学Ⅰ及びⅡ特別入試の欠員→同学部の各課程・学科別に前期日程で補充
- ・ この表のほか、私費外国人留学生特別入試を実施します。（ただし、医学部看護学科及び応用生物科学部共同獣医学科を除く。46～47ページを参照）

## Ⅲ 出願資格

### 1. 一般入試

本学に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科・課程等が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月までにこれに該当する見込みの者

(注)

上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。

- ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和2年3月までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和2年3月までに修了見込みの者を含む。）
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第137号）
- エ 文部科学大臣の指定した者〔昭和23年文部省告示第47号（大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定）〕
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（令和2年3月までに合格見込みの者を含む。）で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
- カ 大学入学資格検定に合格した者
- キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

(備考)

- 本学では、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。
- 上記の「ク」については、「 岐阜大学入学資格審査」を参照してください。
- 障害等のある志願者で、事前の相談を希望する方は、「 障害等のある者の出願にあたっての事前相談」を参照してください。

### 2. 特別入試

35～47 ページを参照してください。



## IV 岐阜大学入学資格審査

Ⅳ 出願資格 1. (3) (注)ク (学校教育法施行規則第 150 条第 7 号) により大学入試センター試験又は岐阜大学へ出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。

### 1. 申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、大学入試センター試験又は社会人特別入試の出願期間初日の 10 日前までに申請するものとします。

なお、本学の一般入試に出願する者で本学の入学資格審査を受けていない者は、大学入試センター試験を受験した者に限り、一般入試出願期間初日の 3 日前までに申請することができるものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書きしてください。

申請先 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学学務部入試課 あて

### 2. 入学資格審査の対象者

ア 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

イ ア以外の者であっても、各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が、高等学校を卒業した者の学力と同等以上であると認められる者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

### 3. 申請手続

次の書類を添え、申請してください。

#### (1) 共通の書類

- ① 入学資格認定書交付申請書 (本学所定の用紙)
- ② 返信用封筒 (申請者の宛先を明記し、速達簡易書留による切手を貼付してください。)

#### (2) 前項のアに該当する者

- ① 最終学校の卒業 (修了) 証明書又は卒業 (修了) 見込み証明書
- ② 高等学校に対応する学校の課程に在学している者は、当該学校の学則 (修業年限、授業科目、標準単位数、週当たり授業時数及び年間授業週数が明示されたもの)
- ③ 教科・科目の履修状況 (調査書に準じたもの)

#### (3) 前項のイに該当する者

- ① 学習等の履歴書
- ② 各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が客観的に確認できる書類

## 4. 本学所定の用紙の請求方法

入学資格認定書交付申請書の用紙を請求する場合は、返信用封筒として「長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）」にあなたの受信住所、郵便番号、氏名を記入の上、84円切手を貼付し、これを折りたたんでも構いませんので、定形内の封筒に入れ、表に「入学資格認定書交付申請書請求」と朱書きし、岐阜大学学務部入試課へ申し込んでください。

## 5. 審査方法等

審査請求があったときは申請書類により速やかに審査を開始します。

## 6. 審査基準

① 当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに習得させる単位数と同等以上であること。

② 申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があること。

## 7. 資格審査の結果

資格審査の結果は、速やかに申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた者については、「岐阜大学入学資格認定書」を同封します。

## 8. 大学入試センター試験及び岐阜大学入学者選抜試験の受験

「岐阜大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、大学入試センター試験及び本学の入学者選抜試験に出願し受験することができます。

出願の際は、必ず岐阜大学入学資格認定書の写を添付してください。

## V 障害等のある者の出願にあたっての事前相談

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることのないよう必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはありません。

また、入学後の修学に関して相談を希望する方は、志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

### 1. 相談の期限

一般入試志願者：願書受付開始日の4日前まで

特別入試（推薦入学Ⅱ特別入試）志願者：願書受付開始日の2週間前まで

特別入試（推薦入学Ⅰ特別入試，社会人特別入試，帰国生特別入試，

私費外国人留学生特別入試）志願者

：当該入試の願書受付開始日の1か月前まで

注：日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定や他の配慮との関係から受験上の配慮として申請が必要です。なお，点字による入試が必要な場合は9月末までに相談してください。

### 2. 相談の方法

①本学所定の用紙「障害者等受験上の配慮申請書」及び②大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書（写し・該当者のみ）に③医師の診断書及び障害者手帳（写し・該当者のみ）を添付し，志望する学部の学務係に提出してください。（所在地，電話番号等は裏表紙参照）

なお，必要な場合には，志願者又は関係者との面談等を行うことがあります。

### 3. 本学所定の用紙の請求方法

用紙は，岐阜大学のホームページからダウンロードすることができます。

郵便で用紙を請求する場合は，封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし，84円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm））を同封し，以下の＜請求先＞に送付してください。

※同封の返信用封筒には，あなたの住所，郵便番号，氏名（宛名）を明記してください。返信用封筒は折りたたんで構いません。

＜請求先＞

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学学務部入試課〔電話058-293-2156，2157〕又は，各学部の学務係

（所在地，電話番号等は裏表紙参照）

### 4. 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は，至急志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

## VI 入学者選抜方法等

一般(前期・後期)

### 1. 一般入試の入学者選抜方法等

大学入試センター試験，個別学力検査等及び調査書により，総合的に判定します。

学部・学科等名			選抜方法等	個別学力検査等							個別学力検査等の日程		
				個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜				
					実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	大学入試センター試験の第1段階選抜に合格し，その後の検査を行う	第1段階の選抜による合格者数 対する募集人員に倍率		その他	
教育学部	学校教育教員養成課程	国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(火) 実技検査 2月26日(水)	
		音楽教育 保健体育		○	○	×	×	×	×	×	×		
		美術教育		○	○	○	×	×	×	×	×		
		特別支援教育		○	×	×	×	×	×	×	×		
	学校教育教員養成課程	国語教育 数学教育 理科教育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×		3月12日(木)
		音楽教育 保健体育		×	○	×	×	×	×	×	×		
		特別支援教育		○	×	×	×	×	×	×	×		
地域科学部	地域政策学科 地域文化学科 ※1	前期日程	○	×	×	○	×	×	×	×	2月25日(火)		
		後期日程	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日(木)		

※1 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。

大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書により、総合的に判定します。

学部・学科等名		選抜方法等	個別学力検査等								個別学力検査等の日程
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜			
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、必要に応じて検査を行う	第1段階の選抜者数	募集人員に対する倍率	
医学部	医学科	前期日程	○	×	○	×	×	○	約15倍	×	2月25日（火） 面接 2月26日（水）
		後期日程	○	×	○	×	×	○	約15倍	×	3月12日（木） 面接 3月13日（金）
	看護学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日（火）
		後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	3月12日（木）
工学部	社会基盤工学科 機械工学科 化学・生命工学科 電気電子・情報工学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日（火）
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日（木）
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日（火）
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日（木）
	共同獣医学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日（火）

【全学部共通事項】

- ・当初合格者で入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、追加合格を行うことがあります。
- ・追加合格を行っても、なお入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

◎ 出願期間及び合格者発表日

- ・出願期間（前期・後期日程） 1月27日（月）～ 2月5日（水）
- ・合格者発表日（前期日程） 3月6日（金）
- ・合格者発表日（後期日程） 3月21日（土）

特別

## 2. 特別入試の入学者選抜方法等

学部・学科等名		選抜方法等	アドミツション・オフィス入試	推 薦 入 試							推薦入試募集人員	専門・高校・総合学科卒業生入試	帰国生・社会人等のための特別入試			備 考	
				入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する									推薦入試募集人員	帰国生	中国引揚者等		社会人
				実 技 検 査 等													
				個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他							
教 育 学 部	学校教育 教員養成 課程	国語教育									2人					(推薦Ⅱ特別入試)  補足事項 [音楽] 音楽歴調書を 面接の参考資 料に使用  [美術] 持参する作品 (5点以内)を 用いて判定  [保健体育] 運動歴調書を 用いて判定	
		社会科教育(史学)									2人						
		社会科教育(地理学)									2人						
		社会科教育(現代社会)									4人						
		数学教育								×	2人						
		理科教育(物理学)									2人						
		理科教育(化学)									2人						
		理科教育(生物学)									2人						
		理科教育(地学)	×	○	×	×	○※3	×	×		3人	×	×	×	×		
		音楽教育									2人						
		美術教育									○	4人					
		保健体育									○	2人					
		家政教育										2人					
		英語教育										3人					
学校教育(心理学コース)									×	3人							
学校教育(教職基礎コース)										3人							
特別支援教育										2人							
地域科学部	地域政策学科 地域文化学科 ※1		×	○	×	○	○	×	×		6人				(推薦Ⅰ特別入試)		
			×	○	×	○	×	×	×		10人				(推薦Ⅱ特別入試)		
医学部	医学科	×	○	×	×	○	○	×	×	※2 48人		×	×	×	×	(推薦Ⅱ特別入試)	
	看護学科	×	×	○	×	○	○	×	×	15人		×	×	×	○	(推薦Ⅰ特別入試)	
工 学 部	社会基盤 工学科	環境コース									ア)イ) 10人					(推薦Ⅱ特別入試)	
		防災コース									2人						
	機械工学科	機械コース									8人				2人		
		知能機械コース									5人				2人		
	化学・生命 工学科	物質化学コース	×	○	×	×	○※4	×	×	×	12人		×	×	×		×
		生命化学コース									6人				2人		
※5 電気電子・ 情報工学科	電気電子・ 情報工学科	電気電子コース									6人				2人		
		情報コース									8人				2人		
		応用物理コース									4人				1人		

応用生物科学部	応用生命科学課程	×	×	○	×	○	○	×	×	3人	×	×	×	×	(推薦Ⅰ特別入試)
	生産環境科学課程		○	×	×	○	○	×	×	5人					
	応用生命科学課程		○	×	×	○	○	×	×	10人					
	生産環境科学課程		○	×	×	○	○	×	×	15人					
	共同獣医学科		○	×	×	○	○	×	×	4人					

- ※1 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。
- ※2 医学部医学科の推薦入学の募集人員 48 人には、地域枠推薦 28 人を含みます。(38 ページ参照)  
 なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請予定の人数であり、変更があり得ます。
- ※3 教育学部の個人面接は、一部の講座等において口述試験を含み、英語教育講座は英語面接を含み、音楽教育講座は実技試験を含みます。(35 ページ参照)
- ※4 工学部の面接は、口述試験等を含みます。
- ※5 工学部の推薦入学の募集人員は、「選抜の対象」により異なります。ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込み又は卒業後 1 年以内の者 イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後 1 年以内の者 (40 ページ参照)
- ・ この表のほか、私費外国人留学生特別入試を実施します。(ただし、医学部看護学科及び応用生物科学部共同獣医学科を除く。46～47 ページを参照)

3. 一般入試の実施教科・科目及び配点等

学部 及び 及び 及び	学 校 及び 及び	学 科 及び 及び	学 員 及び 及び	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程		学 科 目 名 等	教 科 等	個 別 学 力 検 査 等		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等							特 別 の 入 試 方 法 等			
				前 期	後 期			教 科 等	科 目 名	試 験 の 区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外 国 語		実 技	小 論 文	綜 合 問 題
教育学部 [平成31年度 6.2]	250人 前期 後期 その他	国語教育	24人 前期 後期 その他	前期	2月25日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注)	国 数 外	国語総合 イ (数I・数A・数II・数B) 又は ロ (数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	センター試験 100 個別学力検査等 * (200) (300) 計 100	100 50	100 50	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択	推 外 国 人
				後期	3月12日	英 (注) 「地理歴史・公民から2及び 理科から1」又は「地理歴史・公民 から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教 科7科目又は6教科8科目]	国 数 外	国語総合	センター試験 100 個別学力検査等 400 計 500	100 50	100 50	100 100	50 100	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	450 400 850	
教育 教 員 養 成 課 程	36人 前期 後期 その他	社会科教育	28人 前期 後期 その他	前期	2月25日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注)	国 数 外	国語総合 イ (数I・数A・数II・数B) 又は ロ (数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	センター試験 100 個別学力検査等 (300) (300) 計 100	100 50	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択	推 外 国 人	
				後期	3月12日	英 (注) 「地理歴史・公民から2及び 理科から1」又は「地理歴史・公民 から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教 科7科目又は6教科8科目]	国 数 外	国語総合	センター試験 100 個別学力検査等 (300) (300) 計 100	100 50	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100		450 400 850



学部 及び 教育学部 [平成31年度 [6.2]	学 科 等 名 等 志願倍率]	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 の 利 用 教 科 ・ 科 目 名		個 別 学 力 検 査 等 2 段 階 選 抜	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											特 別 の 入 試 方 法 等
			国 語	地 歴 公 民		数 学	理 科	外 国 語	実 技	小 論 文	総 合 問 題	面 接	配 点 合 計	備 考			
250人 前期 後期 その他 162 46 42	理科教育 36人 前期 後期 その他 20 7 9	前期 2月25日	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [数必須, 国又は外のどちらかを選択]	センター試験 100 個別学力検査等 *(200) 計 100 300 50 100 100	100 50	100 100 200 300	50 100	100 100 *(200)	100 100 100 300	50 100 50 100	450 400 850	*印 か ら 1 つ 選 択	推 外 国 人		
		後期 3月12日	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [実技必須, 3教科のうち1教科を選 択]	センター試験 100 個別学力検査等 計 100 100 450 500	100 50	100 100 400	50 100 450 500	50 100	100 100 *(200)	100 100 100 300	50 100 50 100	450 400 850	*印 か ら 1 つ 選 択	推 外 国 人	
	音楽教育 12人 前期 後期 その他 7 3 2	前期 2月25日	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [実技必須, 3教科のうち1教科を選 択]	センター試験 100 個別学力検査等 計 100 100 400	100 50	100 100 200	50 100	100 100 *(200)	100 100 100 300	50 100 50 100	450 400 850	*印 か ら 1 つ 選 択	推 外 国 人		
		後期 3月12日	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [実技必須, 3教科のうち1教科を選 択]	センター試験 100 個別学力検査等 計 100 100 400	100 50	100 100 200	50 100	100 100 *(200)	100 100 100 300	50 100 50 100	450 400 850	*印 か ら 1 つ 選 択	推 外 国 人		
	美術教育 10人 前期 後期 その他 6 0 4	前期 2月25日	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国 世B, 日B, 地理B(注) 理社, 倫, 政経, 倫・政経(注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学(注) 英	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [実技必須, 3教科のうち1教科 を選択]	センター試験 100 個別学力検査等 計 100 100 400	100 50	100 100 200	50 100	100 100 *(200)	100 100 100 300	50 100 50 100	450 400 850	*印 か ら 1 つ 選 択	推 外 国 人		
		後期	募集しない														

学部・学入年度 及び[平成31年度 教育学部 [6.2]	学科等 名等 [保健体育 前期 後期 その他]	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名 等	2段階 選抜		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の入 試方法等				
			国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文		国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文	国 語 地 歴 公 民 数 学 理 科 外 国 語 実 技 小 論 文					
250人 前期 後期 その他	162 46 42	前期 2月25日 26日	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	実技検査 国語総合 イ(教I・数A・教II・数B)又は ロ(教I・数A・教II・数B・教III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [実技必須、3教科のうち1教科を選 択]	センター試験 個別学力検査等	100 *	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	450 400	*印 から 1つ 選 択	推 外 国 人
		後期 3月12日	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	実技検査 (運動能力に関する検査)	センター試験 個別学力検査等	100 100	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	450 400	
162 46 42	10人 前期 後期 その他	前期 2月25日	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国語総合 イ(教I・数A・教II・数B)又は ロ(教I・数A・教II・数B・教III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [数必須、国又は外のどちらかを選択]	センター試験 個別学力検査等	100 *	100 50	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	450 400	*印 から 1つ 選 択	推 外 国 人
		後期 3月12日	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	物理 教I・数A・教II・数B・教III 物基・物、化基・化、生基・生から1 [2教科のうち1教科を選択]	センター試験 個別学力検査等	100 *	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	450 400	*印 から 1つ 選 択
162 46 42	12人 前期 後期 その他	前期 2月25日	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国語総合 イ(教I・数A・教II・数B)又は ロ(教I・数A・教II・数B・教III) のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	センター試験 個別学力検査等	100 *	100 50	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	450 400	*印 から 2つ 選 択	推 外 国 人
		後期 3月12日	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	国 語 地 歴 公 民 数 理 外	物理 教I・数A・教II・数B・教III 物基・物、化基・化、生基・生から1 [4教科のうち1教科を選択]	センター試験 個別学力検査等	100 *	100 50	100 100	50 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	450 400	*印 から 1つ 選 択

学部・学入学及び平成31年度教育学部 [6.2]	学科等名等 英語教育 24人 前期 14 後期 7 その他 3	学力検査等の区分・日程 前期 2月25日 後期 3月12日	大学入試センター試験の利用教科・科目名 国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]		個別学力検査等 科目名 国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 試験の区分 センター試験 個別学力検査等 計										特別の入試方法等 外国人 推薦
			国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合問題	面接	配点合計	備考			
250人 前期 162 後期 46 その他 42	英語教育 24人 前期 14 後期 7 その他 3	前期 2月25日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	100 *	$\frac{100}{50}$ か	100 *	$\frac{100}{50}$ か	50 100	$\frac{50}{100}$ 100	100 *	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択	外国人 推薦			
		後期 3月12日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	100 *	$\frac{100}{50}$ か	100 *	$\frac{100}{50}$ か	50 100	$\frac{50}{100}$ 100	100 *	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択				
学校教育学 15人 前期 8 後期 4 その他 3 学校教育学 職基礎コー ス)	11人 前期 8 後期 0 その他 3	前期 2月25日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	100 *	$\frac{100}{50}$ か	100 *	$\frac{100}{50}$ か	50 100	$\frac{50}{100}$ 100	100 *	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択	外国人 推薦			
		後期 3月12日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	100 *	$\frac{100}{50}$ か	100 *	$\frac{100}{50}$ か	50 100	$\frac{50}{100}$ 100	100 *	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択				
特別支援教育	20人 前期 15 後期 3 その他 2	前期 2月25日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	100 *	$\frac{100}{50}$ か	100 *	$\frac{100}{50}$ か	50 100	$\frac{50}{100}$ 100	100 *	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択	外国人 推薦			
		後期 3月12日	国語 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又はロ(数I・数A・数II・数B・数III)のどちらか1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択]	100 *	$\frac{100}{50}$ か	100 *	$\frac{100}{50}$ か	50 100	$\frac{50}{100}$ 100	100 *	450 400 850	*印 か ら 2 つ 選 択				

学部・学科等 及び入学定員等 [平成31年度 地域政策学 科 地域文化学 科 各学科50人 入試は学科の区別 をせず学部単位で 実施 前期 後期 その他	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 の 科目名 等	2段階 選抜		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の入 試方法等	
		国 語 地 理 公 民 数 理 外	科 目 等		教科等	科目名 等	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	実技		小論文
地域科学部 [4.5] 100人 前期 後期 その他	前期 2月25日 後期 3月12日	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B (注) 公民 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物理 化学, 生, 地学 (注) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注) 「地理歴史・公民から2及び 理科から1」又は「地理歴史・公民 から1及び理科から2」 ※2 (→P.22) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教 科7科目又は6教科8科目]	数 外 その他 小論文	数I・数A・数II・数B コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [2教科のうち1教科を選択] 小論文	センター試験 個別学力検査等 計	100 100 100	100 50 100	100 50 100	100 100 100	50 100 50	100 100 100	200 200 200	450 400 850	*印 から 1つ 選択	推 社 会 人 生 国 人 推 社 会 人 生 国 人
医学部 [7.4] 190人 前期 後期 その他	前期 2月25日 26日 後期 3月12日 13日	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理 化学, 生, 英 [5教科7科目]	数 外 理 その他 小論文	数I・数A・数II・数B・数III コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・コミュニケーショ ン英語III・英語表現I 物基・物, 化基・化, 生基・生から2 面接	センター試験 個別学力検査等 計	100 100 100	*100 *100 *100	200 200 200	400 400 400	200 200 200	600 600 600	800 1,200 2,000	*印 か ら 1 つ 選 択	推 外 国 人	
看護学科 80人 前期 後期 その他	前期 2月25日 後期 3月12日	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B (注) 公民 数I・数Aから1 数II・数Bから1 物理 化学, 生基, 物, 化, 生 (注) 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び 理科から1」又は「地理歴史・公民 から1及び理科から2」 ※1, ※3 (→P.22) [5教科7科目, 6教科7科目又は6 教科8科目]	国 数 外 その他 小論文 面接	国語総合 数I・数A・数II・数B コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [外必須, 国又は数のどちらかを選択]	センター試験 個別学力検査等 計	100 100 100	100 50 100	100 100 100	100 100 100	50 100 50	100 100 100	450 400 850	*印 か ら 1 つ 選 択	推 社 会 人	

学部・入学年度 及び入学者数 [平成31年度 [5.1]	学科等 学定員等 志願倍率]	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科		個別学力検査等 科目名 等	2段階 選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の入 試方法等
			国	地歴			公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合 問題	面接	配点 合計	備考	
工学部 510人 前期 222 後期 214 その他 74	社会基盤工学科 60人 環境コース 24 防災コース 24 前期 24 後期 12 その他	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 教 I・教A } 教 II・教B, 情報から1 } 理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]	教 理 外	教I・教A・教II・教B・教III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I		国語 200 地歴 100 (1科目選択) 公民 200 数学 200 200 理科 200 200 外国語 200								500		推 薦 外 国 人
		後期 3月12日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 教 I・教A } 教 II・教B, 情報から1 } 理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]	教 理 外	教I・教A・教II・教B・教III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I		国語 200 地歴 100 (1科目選択) 公民 200 数学 200 200 理科 200 200 外国語 200								500		推 薦 外 国 人
機械工学科 80人 前期 35 後期 35 その他 10 知能機械 コース 50人 前期 22 後期 21 その他 7		前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 教 I・教A } 教 II・教B, 情報から1 } 理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]	教 理 外	教I・教A・教II・教B・教III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I		国語 200 地歴 100 (1科目選択) 公民 200 数学 200 200 理科 200 200 外国語 200								500		推 薦 外 国 人
		後期 3月12日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 教 I・教A } 教 II・教B, 情報から1 } 理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]	教 理 外	教I・教A・教II・教B・教III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I		国語 200 地歴 100 (1科目選択) 公民 200 数学 200 200 理科 200 200 外国語 200								500		推 薦 外 国 人

学部 及び 入学生数 [平成31年度 5.1]	学入学 部員等 定員等 志願倍率]	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学 力検査 等	2段階 選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の入 試方法等			
			教科	科目名			試験の区分	国語	地歴 (1科目選択)	公民	数学	理科	外国語		実技	小論文	総合 問題
工学部 [5.1] 510人 前期 後期 その他	化学・生命工学科 物質化学 コース 前期 85人 後期 36 その他 35 その他 14 生命化学 コース 前期 65人 後期 30 その他 27 その他 8	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から1 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 公民 数 数I・数A 数II・数B, 情報から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数A・数II・数B・数III 化基・化 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	センター試験	200	100 (1科目選択)	200	200	200					500	推 外 国 人
		後期 3月12日				計										1,000	
						センター試験	200	100 (1科目選択)	200	200	200					500	
						個別学力検査等			600	600	300					1,500	
						計										2,000	
工学部 電気電子・情報工 学科	電気電子 コース 前期 75人 後期 33 その他 34 その他 8 情報コース 前期 70人 後期 32 その他 28 その他 10 応用物理 コース 前期 25人 後期 10 その他 10 その他 5	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から1 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 公民 数 数I・数A 数II・数B, 情報から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	センター試験	200	100 (1科目選択)	200	200	200					500	推 外 国 人
		後期 3月12日				計										1,000	
						センター試験	200	100 (1科目選択)	200	200	200					500	
						個別学力検査等			400	400	200					1,000	
						計										1,500	

学部・学 部 及び [平成31年 度]	学 科 等 名 等 等 の 区 分 ・ 日 程	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等 の 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の入 試方法等				
			教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技		総合 問題	面接	配点 合計	備考
応用生物 科学部 [3.8]	190人 前期 後期 その他 37	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 数I・数A 物,化,生,地から2 英,独,仏,中,韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数A・数II・数B 物基・物,化基・化,生基・生から1	センター試験	200	*100	*100	200	200	250				950	*印 か ら 1 つ 選 択		
							個別学力検査等				200			200						400
							計	200	*100	*100	400	400	250			1,350				
					理	物基・物,化基・化,生基・生から1	センター試験	200	*100	*100	200	200	250				950	*印 か ら 1 つ 選 択		
							個別学力検査等				400					400				
					計		200	*100	*100	200	600	250				1,350				
生産環境科学課程	80人 前期 後期 その他 20	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 数I・数A 物,化,生,地から1 英,独,仏,中,韓から1 [5教科7科目]	教 理	数I・数A・数II・数B 物基・物,化基・化,生基・生から1	センター試験	200	*100	*100	200	200	250				950	*印 か ら 1 つ 選 択		
							個別学力検査等				200			200					400	
					理	物基・物,化基・化,生基・生から1	センター試験	200	*100	*100	200	200	250				950	*印 か ら 1 つ 選 択		
							個別学力検査等				400					400				
					計		200	*100	*100	200	600	250				1,350				
共同獣医学科	30人 前期 後期 その他 4	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 数I・数A 数II・数B 物,化,生,地から2 英,独,仏,中,韓から1 [5教科7科目]	理 外	物基・物,化基・化,生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・コミュニケーショ ン英語III・英語表現I	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	*印 か ら 1 つ 選 択		
							個別学力検査等				200			200					400	
					計		200	*100	*100	200	400	400				1300				
							募集しない													

## 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。  
（「情報関係基礎」においては、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）
- 2 「外国語」のうち、「英語」は、「筆記試験」と「リスニングテスト」の双方を課します。筆記試験を受験し、リスニングテストを受験しなかった場合は、リスニングテストの得点は0点となります。ただし、リスニングテストが免除となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。
- 3 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を受験することはできません。
- 4 ※1 教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
- 5 この説明文中において、理科の基礎を付した科目を「理科①」、基礎を付していない科目を「理科②」と表します。
- 6 ※2 「理科①」は2科目で1とします。  
理科から1の場合は、(1)「理科①」から2科目、(2)「理科②」から1科目のいずれかとなります。理科から2の場合は、(3)「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目、(4)「理科②」から2科目のいずれかとなります。なお、(3)の場合は、同一名称を含む科目は選択できません。
- 7 ※3 「理科①」は2科目で1とします。  
理科から1の場合は、(1)「理科①」から2科目、(2)「理科②」から1科目のいずれかとなります。理科から2の場合は、(3)「理科②」から2科目とします。

## 【個別学力検査等】欄

「数学」

数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲：全範囲（ただし、数Ⅰは「データの分析」を除く。）

数Aの範囲：「場合の数と確率」、「図形の性質」（ただし、「整数の性質」に関しては、小学校の算教と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。）

数Bの範囲：「数列」、「ベクトル」

「理科」

物基・物の範囲：物理基礎、物理の全範囲。 化基・化の範囲：化学基礎、化学の全範囲。 生基・生の範囲：生物基礎、生物の全範囲。

## 【2段階選抜】欄

医学部医学科は、前期日程・後期日程試験において志願者数が募集人員の約15倍を超えた場合、個別学力試験を適切に実施するため、大学入試センター試験の成績（前期日程・後期日程試験で用いる科目・配点に同じ、満点前期日程800点、後期日程400点）により第1段階選抜を行います。

## 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 1 「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。（なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。）
- 2 教育学部、地域科学部及び医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 3 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。  
(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点。



- 4 医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。
- (1) 「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2) 「理科①」の2科目の得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3) 「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点。
- 5 大学入試センター試験の「外国語」における「英語」は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を各学部が定める配点に換算します。ただし、リスニングテストが免除となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を各学部が定める配点に換算します。また、地域科学部、工学部及び応用生物科学部については、「英語」以外の外国語は筆記試験(200点満点)の得点を各学部が定める配点に換算します。
- 6 ※4 面接は、総合判定の資料(配点なし)とし、医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とします。

## 【教育学部の専攻】

教育学部の次の2講座には、それぞれ専攻があります。

①社会科学教育講座：「史学」、「地理学」、「現代社会」の3専攻

教育学部の一般入試(前期日程)における上記の講座の合格者については、合格者発表時において、志願者の専攻の志望順位及び試験成績を考慮し、募集人員の1/4(現代社会専攻は1/2)を目安に、推薦入学の合格者数を考慮して、各専攻に割り振ります。

②理科教育講座：「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻

教育学部の一般入試(前期日程・後期日程)における上記の講座の合格者については、専攻を区別せず講座単位で合格者を発表します。所属専攻は、本人の希望と1年次の成績を考慮し、2年次前学期に入るときに各専攻に割り振ります。

## 【各学部・学科等の入試における特色】

### 教育学部

#### 〔前期日程・後期日程〕

卒業後に教師として必要となる幅広い基礎的学力を問うべく、センター試験を問うべく、センター試験を課します。個別学力検査では、前期日程において英語、数学、国語から2教科(音楽教育講座及び保健体育講座は関連する実技と1教科、美術教育講座は関連する実技に加え面接と1教科)、後期日程においては英語、数学、国語、理科(物理・化学・生物)から1教科(実技系は関連する実技)の試験を課し、教育学部で学ぶのに必要な論理的思考力(実技系は実技能力)を持つ学生の入学を期待しています。

高等学校における学習では、履修する教科・科目の基礎的理解と同時に、入学を希望する分野をより深く理解しようとする資質を評価します。実技系においては、基礎的実践能力を評価します。

### 地域科学部

#### 〔前期日程〕

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入試センター試験を課しています。

個別学力試験では、数学または英語(どちらかを選択)、および小論文試験を課しています。前者は、高校で学んだ数学または英語の学力を評価します。また、後者は、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。

高校で履修しているどの授業も大切に、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

#### 〔後期日程〕

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入試センター試験を課しています。

個別学力試験では、小論文試験を課しています。小論文試験では、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。

高校で履修しているどの授業も大切に、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

## 医学部医学科

### 〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験で幅広い基礎学力を問ひ、個別学力試験（数学・理科（2科目）・外国語（英語）を課すことによって、理数系の能力と応用力、英語力を問ひ、論理的思考と問題解決能力に秀でた学生を選抜します。

また、医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性をみるために面接を行います。

## 医学部看護学科

### 〔前期日程〕

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力を評価するために大学入試センター試験と個別学力検査として国語又は数学、英語を実施します。

### 〔後期日程〕

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力さらに目的意識、社会への関心、表現力を評価するために大学入試センター試験と個別学力検査として小論文、面接を実施します。

## 工学部

### 〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験では国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の5教科を課し、受験する者がこれまでに身につけた基礎学力の評価を行います。個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科（物理又は化学）並びに工学技術者として必須である英語を課し、大学入試センター試験と個別学力検査の合計点により合格者を決定します。

基礎学力に加えて理解力・応用発展能力がどれだけあるかを評価するため個別試験に重きを置き、大学入試センター試験と個別学力検査の配点比率は、前期日程を 500:1000、後期日程を 500:1500とします。

## 応用生物科学部

### 〔前期日程〕

一般的学力の高い学生を選抜する入試ですので、幅広く学習をしてきた者を対象としています。

大学入試センター試験と個別学力検査を課し、応用生命科学課程及び生産環境科学課程においては理数系に秀でた者、共同獣医学科においては理科及び英語力を備えた者を求めています。

### 〔後期日程〕

応用生命科学課程及び生産環境科学課程で実施しています。

一般的に学力の高い学生を選抜する入試ですので、幅広く学習してきた者を対象とし、特に理科についての関心・学力を備えた者を求めています。

大学入試センター試験と個別学力検査により評価します。個別学力検査では理科1科目を課し、応用生物科学の基礎となる理科に関する学力を判定します。

4. 大学入試センター試験の受験を要する教科等  
(1) 一般入試  
ア 前期日程

学部	受験を要する教科										科目			合計														
	国語		地理歴史		公民		数学		理科		外国語																	
	国	語	世	界	史	地	理	倫	理	現	代	社	会		数	学	数	学	理	科	英	日	独	法	中	韓		
教育学部	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	◎							5～6 教科
	1	理	科	が	2	の	場	合	は	1, 理	科	が	1	の	場	合	は	2	1	理	科	◎						7～8 科目
地域政策学 地域文化学 科 (入試は学部 単位で実施)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎						5～6 教科	
	1	理	科	が	2	の	場	合	は	1, 理	科	が	1	の	場	合	は	2	1	理	科	◎						7～8 科目
医学科	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎						5教科 7科目	
	1	理	科	が	2	の	場	合	は	1, 理	科	が	1	の	場	合	は	2	1	理	科	◎						7科目
看護学部	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎						5教科 7科目, 6教科 7～8 科目	
	1	理	科	が	2	の	場	合	は	1, 理	科	が	1	の	場	合	は	2	1	理	科	◎						7科目

学部	受験を要する教科・科目											合							
	国語		地理歴史				公民		数学		理 科			外国語					
等	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学①	数学②	理科①	理科②	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語	
	工学部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	△	○	○	○	○	○	○
1											2		1			5教科		7科目	
応用生物科学部	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	△	○	○	○	○	○	○	○
	1											2		1			5教科		7科目
共同獣医学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	1											2		1			5教科		7科目

- (注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。  
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)
- 3 教育学部、地域科学部及び医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」の2科目の合計得点が、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点のいずれか高得点
- 5 医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点
- 6 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。  
なお、教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
- 7 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。(「情報関係基礎」においては、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)
- 8 「外国語」のうち、「英語」は、「筆記試験」と「リスニングテスト」の双方を課します。筆記試験を受験し、リスニングテストを受験しなかった場合は、リスニングテストの得点は0点となります。ただし、リスニングテストの配慮決定者となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。

イ 後期日程

学部		受験を要する教科科目										合																			
		国語		地理歴史		公民		数学		理科			外国語																		
学部	等	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学①	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	理科①	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	理科②	物化生	地学	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語		
教育学部		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	◎					5～6 教科
教育学部		1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2									1		1														1			7～8 科目
地域政策学科 地域文化学科 (入試は学部 単位で実施)		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	△	△															5～6 教科
地域科学部		1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2									1		1														1			7～8 科目
医学科		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○												◎					5教科 7科目
医学部		1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2									1		1														1			5教科 7科目, 6教科 7～8 科目
看護学科		1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2									1		1													◎				

学部		受験を要する教科・科目										合計						
		地理歴史		公民		数学		理 科		外国語								
国語	英語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	理科①	理科②	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語	
工学部	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△		○	○	○	○	○	○
	1	1		1		1		1		1		2		1			5教科	
応用生命科学課程	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△		○	○	○	○	○	○
生産環境科学課程	1	1		1		1		1		1		2		1			5教科	
共同獣医学科		募集しない										7科目						

- (注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。  
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)
- 3 教育学部、地域科学部及び医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から1科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点
- 5 医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から1科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点
- 6 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
- 7 なお、教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。  
「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれら2科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。「情報関係基礎」においては、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者
- 8 「外国語」のうち、「英語」は、「筆記試験」と「リスニングテスト」の双方を課します。筆記試験を受験し、リスニングテストを受験しなかった場合は、リスニングテストの得点は0点となります。ただし、リスニングテストが免除となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。

(2) 推薦入学Ⅱ特別入試

学部		選抜対象者		選抜対象学科等		受験を要する教科・科目												合											
						地理歴史			公民		数学			理科			外国語												
国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	理科①	理科②	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
教育学部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	○	○	○	○	○	○	○	◎						5～6 教科
教育学部	1										1		1												1			7～8 科目	
地域科学部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	○	○	○	○	○	○	○	◎						5～6 教科
医学部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1		1												1			7～8 科目	
医学部	1										1		1															5 教科	
医学部	1										1		1												1			7 科目	

学部	選抜対象者	選抜対象学科等	受験を要する教科・科目													合計																									
			国語			地理歴史				公民			数学				理科				外国語																				
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地理基礎	理科①	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語									
工学部	普通・理数に関する学科	社会基盤工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎					◎	○	○			◎	○	○		◎												
		化学・生命工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎						○	○			◎	○		◎												
		機械工学科 電気電子・情報工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎										◎			◎												
		社会基盤工学科 機械工学科 電気電子・情報工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎			△							◎			◎												
工学部	工業に関する学科	社会基盤工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎										◎			◎													
		化学・生命工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎									◎			◎													
		機械工学科 電気電子・情報工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎									◎			◎													
		社会基盤工学科 機械工学科 電気電子・情報工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		◎			△						◎			◎													



学部	選抜対象者	選抜対象学科等	受験を要する教科・科目																						
			国語		地理歴史		公民		数学		理科		外国語		合										
			世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理・政治・経済	数学I	数学II	数学Ⅱ・数学B	情報関係基礎	理科①	理科②		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語			
応用生物科学部	専門学科(農業等に関する学科等)・総合学科を卒業見込みの者	応用生命科学課程 生産環境科学課程	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	3教科
		同上記以外の者	○	○	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	1 5～6 科目
	共同獣医学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科
			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	7科目	

- (注) 1 ○印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)
- 3 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点
- 5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者に限ります。(「情報関係基礎」においては、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)
- 6 「外国語」のうち、「英語」は、「筆記試験」と「リスニングテスト」の双方を課します。筆記試験を受験し、リスニングテストを受験しなかった場合は、リスニングテストの得点は0点となります。ただし、リスニングテストが免除となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。
- 7 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。  
教育学部の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
- 8 工学部の志願者のうち工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者で、複数の教科・科目を受験している場合は次のとおり採用します。  
「国語」「地理歴史」及び「公民」(※印のついた教科)の場合
- ・「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
  - ・「国語」と「地理歴史、公民」の両方を受験している場合は、「国語」と上記の第1解答科目の得点を比較し、得点の高い方を採用します。
- 「理科②」の場合
- ・2科目を受験している場合には、第1解答科目の得点を採用しますので、学科が指定する科目を第1解答科目で受験してください。
- 9 応用生物科学部の志願者で、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の専門学科若しくは総合学科を卒業見込みの者に限ります。
- なお、専門学科とは、農業等に関する学科をいいます。普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならないので、これら以外の専門教育を主とする学科に在籍する志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせてください。
- また、総合学科とは、卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みのものをいいます。

5. 一般入試の実技検査・小論文・面接

○ 教育学部（前期日程）実技検査

前1) 音楽実技 次の3種類の検査を行う。

種目	内 容	注 意 事 項	楽譜コピー (○:要, ×:不要)
1	ソルフェージュ ----- 新曲視唱（調号2つまで）		
2	声 楽 下記の歌曲の中から1曲を選び演奏する。 ----- イタリア歌曲 C. W. Gluck : O del mio dolce ardor (e-moll, c-moll) F. P. Tosti : Ideale (A-dur) ----- ドイツ歌曲 L. v. Beethoven : Andenken (D-dur, C-dur) J. Brahms : Die Mainacht (Es-dur, Fis-dur) ----- 日本歌曲 平井康三郎 : ゆりかご (E-dur) 高田三郎 : くちなし (F-dur, Es-dur)	① 伴奏者は本学で用意する。 ② 暗譜演奏すること。	×
3	器 楽 下記の(1), (2)のどちらかを選択する。 ----- (1) ピアノ演奏 下記の(イ), (ロ), (ハ)のうち1つを選び演奏する。 (イ) L. v. Beethoven 作曲の任意のピアノ・ソナタより第1楽章。 (ロ) J.S. Bach 作曲のインヴェンション・シンフォニアから任意の作品1曲。 (ハ) ロマン派, 近代(1945年以前に作曲されたものとする)のピアノ作品より1曲。 ----- (2) 管楽器・弦楽器・打楽器及びピアノ演奏 A 任意の管楽器・弦楽器又は打楽器の独奏曲(練習曲を含む)を演奏する。 ----- B ピアノ演奏 上記の(1)と同じ課題とする。	① 反復は省略すること。 ② 暗譜演奏すること。 ③ 楽譜は特に指定しない。 ----- A ① 検査当日は無伴奏とする。 ② 楽譜は見てよい。 ③ 反復は省略すること。 ④ 楽曲の途中から演奏させることもある。 ⑤ 楽器は各自持参すること。 ----- B 上記(1)ピアノ演奏の注意事項に同じ。	○ ( (ハ) の場合) ----- ○ ( (ハ) の場合)

共通注意事項

<提出物> 以下2点を他の出願書類と一緒に提出すること

(a) 選択楽曲調書(募集要項に封入) — i) 楽曲名, ii) 調名, iii) 作曲者名(原語で作曲者名を併記), iv) 楽譜の出版社名等を記入。

(b) 「3器楽(1)ピアノ演奏 (ハ) ロマン派, 近代のピアノ作品」および「3器楽(2)管・弦・打楽器」を選択した場合は, その楽譜のコピー — 受験者名, 作曲者名, 曲名を記入。

前2) 美術実技 次の実技検査を行う。

構想画(自画像を時間のイメージと組み合わせた鉛筆画。四つ切り[380×540mm]画用紙使用。)

- ① カルトン, 画用紙, 鏡は大学で用意する。
- ② 鉛筆, 練りゴム等の描画材を各自持参すること。
- ③ 実技検査は3時間。
- ④ 実技検査後に簡単な面接を行う。
- ⑤ 資料の持ち込みを許可する。
  - ・紙に描いたもの, または印刷したものに限る。
  - ・A4 [210×297mm]サイズ以下のものを3枚まで(両面使用可)。
  - ・パソコン, スマートフォン, デジタルカメラ等の電子機器は使用を許可しない。

**前3) 体育実技** 次の実技検査を行う。

- 1) 運動の基礎的能力検査
- 2) 運動の専門的能力検査 (陸上競技, 水泳, 器械運動, 柔道, 剣道, バレーボール, バスケットボール, ハンドボール, サッカー及びダンスのうちから1種目を選択する。)

**○ 教育学部 (後期日程) 実技検査**

**後1) 音楽実技** 次の2種目の検査を行う。

種目	内 容	注 意 事 項	楽譜コピー (○:要, ×:不要)
1	ピアノ弾き歌い 現行『小学校学習指導要領』が指定する歌唱共通教材から1曲を選び演奏する。	① 楽譜は見てもよい。 ② 伴奏形は自由である。	×
2	下記の (1), (2), (3) のいずれかを選択する。		
	(1) ピアノ演奏 自由曲: 任意のピアノ曲から1曲を選び演奏する。	① 反復は省略すること。 ② 暗譜演奏すること。	○
	(2) 管楽器・弦楽器及びピアノ演奏 A 任意の管楽器又は弦楽器のための独奏曲(練習曲を含む)を演奏する。	A ① 検査当日は無伴奏とする。 ② 楽譜は見てもよい。 ③ 反復は省略すること。 ④ 楽曲の途中から演奏させることもある。 ⑤ 楽器は各自持参すること。	○
	B ピアノ演奏 自由曲: 任意のピアノ曲から1曲を選び演奏する。	B 上記(1)ピアノ演奏の注意事項に同じ。	○
	(3) 声楽及びピアノ演奏 A 下記の歌曲の中から1曲を選び演奏する。 イタリア歌曲 S. Donaudy : Spirate pur, spirate (As-dur) ドイツ歌曲 R. Schumann : Widmung (As-dur, Ges-dur) 日本歌曲 小林秀雄 : 落葉松 (F-dur, Des-dur)	A ① 伴奏者は本学で用意する。 ② 暗譜演奏すること。 ③ 楽曲の途中から演奏させることもある。	×
	B ピアノ演奏 自由曲: 任意のピアノ曲から1曲を選び演奏する	B 上記(1)ピアノ演奏の注意事項に同じ。	○

共通注意事項

<提出物> 以下2点を他の出願書類と一緒に提出すること

(a) 選択楽曲調書(募集要項に封入) — i) 楽曲名, ii) 調名, iii) 作曲者名(原語で作曲者名を併記), iv) 楽譜の出版社名等を記入。

(b) 「2 (1) ピアノ演奏」および「2 (2) 管・弦楽器及びピアノ演奏」を選択した場合は, その楽譜のコピー — 受験者名, 作曲者名, 曲名を記入。

<口頭試問> 演奏終了後, 実技試験に関連した口頭試問を行うことがある。

**後2) 体育実技** 次の実技検査を行う。

- 1) 運動の基礎的能力検査
- 2) 運動の専門的能力検査 (陸上競技, 水泳, 器械運動, 柔道, 剣道, バレーボール, バスケットボール, ハンドボール, サッカー及びダンスのうちから1種目を選択する。)

**○ 地域科学部 (前期日程, 後期日程) 小論文**

テーマの的確な把握, 論理的な思考力等をみるために行う。特定の教科の学力を問うものではない。

**○ 医学部医学科 (前期日程・後期日程) 面接**

面接は, 総合判定の資料(配点なし)とし, 医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は, 総合点にかかわらず不合格とします。

**○ 医学部看護学科 (後期日程) 小論文・面接**

小論文: 与えられた課題に対する理解力, 論理的思考力及び文章表現力等を総合的にみるために行う。特定の教科の学力を検査するものではない。

面 接: 看護への適性をみるために行う。

## 6. 特別入試の入試方法等

### (1) 推薦入学特別入試

教育・推Ⅱ（ぎふ清流入試）

実施学部	教 育 学 部																	
入 試 種 別	推 薦 入 学 Ⅱ（ぎふ清流入試） （大学入試センター試験を課す選抜）																	
実施課程、講座（専攻）及び募集人員	<p>学校教育教員養成課程</p> <table border="0"> <tr> <td>国語教育 2人</td> <td>社会科教育（史学）2人</td> <td>社会科教育（地理学）2人</td> </tr> <tr> <td>社会科教育（現代社会）4人</td> <td>数学教育 2人</td> <td>理科教育（物理学）2人</td> </tr> <tr> <td>理科教育（化学）2人</td> <td>理科教育（生物学）2人</td> <td>理科教育（地学）3人</td> </tr> <tr> <td>音楽教育 2人</td> <td>美術教育 4人</td> <td>保健体育 2人</td> </tr> <tr> <td>家政教育 2人</td> <td>英語教育 3人</td> <td>学校教育（心理学コース）3人</td> </tr> </table> <p>学校教育（教職基礎コース）3人 特別支援教育 2人</p>			国語教育 2人	社会科教育（史学）2人	社会科教育（地理学）2人	社会科教育（現代社会）4人	数学教育 2人	理科教育（物理学）2人	理科教育（化学）2人	理科教育（生物学）2人	理科教育（地学）3人	音楽教育 2人	美術教育 4人	保健体育 2人	家政教育 2人	英語教育 3人	学校教育（心理学コース）3人
国語教育 2人	社会科教育（史学）2人	社会科教育（地理学）2人																
社会科教育（現代社会）4人	数学教育 2人	理科教育（物理学）2人																
理科教育（化学）2人	理科教育（生物学）2人	理科教育（地学）3人																
音楽教育 2人	美術教育 4人	保健体育 2人																
家政教育 2人	英語教育 3人	学校教育（心理学コース）3人																
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、以下の出願要件のすべてを満たす者で、「令和2年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち、本学部が指定する教科・科目を受験するもの																	
	a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは、平成31年3月卒業の者（平成31年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）																	
	b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者																	
	岐阜大学教育学部への確たる志望理由があること																	
	岐阜県内の教員として活躍したいという確たる志望理由があること																	
入 試 方 法 等	人物及び学力が優秀であり、志望する講座等に対する能力、素質、適性等について、在籍（卒業）学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること																	
	在籍（卒業）学校（教育施設）長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上の者																	
	数学教育講座に出願する者は、高等学校等において、数Ⅰ、数A、数Ⅱ、数B、数Ⅲをすべて履修した者、または、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論をすべて履修した者																	
	推薦書、岐阜県教員を目指す学修計画書、調査書、大学入試センター試験の成績、音楽歴調書（音楽教育講座）、作品（美術教育講座）、運動歴調書（保健体育講座）及び面接により総合的に判定する。																	
	音楽教育講座は、小学校歌唱共通教材のうち、「春がきた」、「茶つみ」、「ふじ山」、「おぼろ月夜」、「われは海の子」を課題とする。その中から当日1曲指定し、1番のみ弾き歌いを行う。伴奏楽譜は自由とする。																	
	【面接について】																	
	・個人面接と集団面接を課す。																	
	・集団面接は講座等を問わず受験者複数人を1グループとして実施する。																	
	・個人面接は志望講座等別に実施する。個人面接は一部の講座等において口述試験を含み、英語教育講座は英語面接を含み、音楽教育講座は実技試験を含む（音楽歴調書は個人面接の参考資料とする）。口述試験等を含む講座等は次表のとおり。																	
	個人面接	講座・課程																
・口述試験を含む	国語教育講座、社会科教育講座、数学教育講座、理科教育講座、美術教育講座、保健体育講座、家政教育講座、学校教育講座、特別支援教育講座																	
・英語面接を含む	英語教育講座																	
・実技試験を含む	音楽教育講座																	
大学入試センター試験の利用教科・科目名																		
教科	科目名等																	
①国 地歴 公民 数 理 外	<p>次の①又は②のどちらか</p> <table border="0"> <tr> <td>国</td> <td rowspan="2">} から2</td> </tr> <tr> <td>世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数Ⅰ・数A</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ・数B、簿・会、情報</td> </tr> <tr> <td>理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>英</td> </tr> </table> <p>（6教科7科目又は6教科8科目）</p>			国	} から2	世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経	数Ⅰ・数A	} から1	数Ⅱ・数B、簿・会、情報	理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）	} から1	英						
国	} から2																	
世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経																		
数Ⅰ・数A	} から1																	
数Ⅱ・数B、簿・会、情報																		
理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）	} から1																	
英																		
②国 地歴 公民 数 理 外	<table border="0"> <tr> <td>国</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数Ⅰ・数A</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ・数B、簿・会、情報</td> </tr> <tr> <td>理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）</td> <td rowspan="2">} から2</td> </tr> <tr> <td>英</td> </tr> </table> <p>（5教科7科目又は5教科8科目）</p>			国	} から1	世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経	数Ⅰ・数A	} から1	数Ⅱ・数B、簿・会、情報	理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）	} から2	英						
国	} から1																	
世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経																		
数Ⅰ・数A	} から1																	
数Ⅱ・数B、簿・会、情報																		
理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）	} から2																	
英																		

教育・推Ⅱ（ぎふ清流入試）

入試方法等	<p>注1 「地理歴史、公民」、理科②において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。（第2解答科目の得点は一切採用しないため、指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。）</p> <p>2 「地理歴史、公民」、理科②をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と理科②の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。</p> <p>3 「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。          (1) 「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2) 「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3) 「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点</p> <p>4 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。</p> <p>5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。（「情報関係基礎」については、P. 32を参照）</p> <p>6 「理科①」については、2科目で1とします。          理科から1の場合は、(1) 「理科①」から2科目、(2) 「理科②」から1科目のいずれかとし、理科から2の場合は、(3) 「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目、(4) 「理科②」から2科目のいずれかとし、(3)の場合は、同一名称を含む科目は選択できません。</p>
出願期間	令和元年12月17日（火）～20日（金）
入試期日	令和2年2月1日（土）
合格者発表日	令和2年2月10日（月）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	<p>個別学力検査は課さない。</p> <p>1 1校からの推薦者数は、教育学部全体で5名以内（音楽教育、美術教育、保健体育を除く。）とする</p> <p>2 次の講座等は1校から2名以内とする（国語教育、社会科教育（1専攻に1名以内）、理科教育（1専攻に2名も可）、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、学校教育（1コース1名以内）・特別支援教育）</p> <p>3 次の講座は1校から1名以内とする（数学教育、英語教育）</p> <p>4 音楽教育講座の志望者は、音楽歴調書を提出すること</p> <p>5 美術教育講座の志望者は、作品証明書を提出すること。また、記入した作品5点以内を試験当日に持参すること</p> <p>6 保健体育講座の志望者は、運動歴調書を提出すること</p>

〔学部・課程・講座の入試における特色〕

「ぎふ清流入試」は、岐阜県内の教員として働きたい人を募集する入試です。高等学校において学習した教科・科目の基礎的知識・技能、ならびに、岐阜県教員として働くための資質とその表現力を評価します。

面接には、知識・技能と表現力に重点を置いた個人面接と、協働性、岐阜県教員に対する熱意を評価する集団面接があります。実技系においては、基礎的実践能力を評価します。

地域・推Ⅰ

実施学部	地域科学部
入試種別	推薦入学Ⅰ (大学入試センター試験を課さない選抜)
実施学科及び募集人員	<p>地域政策学科、地域文化学科 2学科合計 6人</p> <p>入試は学科の区別をせず学部単位で行います。          所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。</p>
出願要件	<p>令和2年3月高等学校（中等教育学校高等部を含む。）の専門学科又は総合学科、及び特別支援学校高等部を卒業見込みの者</p> <p>※ 専門学科については、職業教育を主とする学科に在籍する者とする。普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。特別支援学校高等部については学科を限定しない。</p> <p>人物及び修学姿勢において秀で、本学部に対する意欲、適性等について在籍学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。</p> <p>学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者</p>
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、小論文及び面接により総合的に判定する。
出願期間	令和元年11月1日（金）～6日（水）
入試期日	令和元年11月16日（土）
合格者発表日	令和元年11月28日（木）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	個別学力検査は課さない。同一の専門学科等からの推薦者数は、2人以内

〔学部・学科の入試における特色〕

対象は、高等学校（中等教育学校高等部を含む。）の専門学科又は総合学科、及び特別支援学校高等部を卒業見込みの者です。

小論文試験と面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価します。

高校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

実施学部	地域科学部	
入試種別	推薦入学Ⅱ (大学入試センター試験を課す選抜)	
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 10人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。 〕	
出願要件	次のいずれかに該当し，出願要件のすべてを満たす者で，「令和2年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち，本学部が指定する教科・科目を受験するもの a) 令和2年3月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者	
	人物及び修学姿勢において秀で，本学部に対する意欲，適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者。	
入試方法等	推薦書，志望理由書，調査書，大学入試センター試験の成績及び面接により総合的に判定する。	
	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	①国 地歴 公民 数  理 外	次の①又は②のどちらか 国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B } から2 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 理①（物基，化基，生基，地学基），理②（物，化，生，地学）から1 英，独，仏，中，韓から1 (5教科7科目，5教科8科目，6教科7科目又は6教科8科目)
②国 地歴 公民 数  理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B } から1 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 理①（物基，化基，生基，地学基），理②（物，化，生，地学）から2 英，独，仏，中，韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	
注1 「地理歴史，公民」，「理科②」において，指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては，第1解答科目の得点を採用します。 2 「地理歴史，公民」，「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は，「地理歴史，公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と，第2解答科目のいずれか高得点を採用します。 3 「地理歴史，公民」から2科目，「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は，以下の(1)～(3)の得点を採用します。 (1)「地理歴史，公民」の第1解答科目の得点，(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点，(3)「地理歴史，公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点 4 「地理歴史，公民」から2科目を受験する場合は，同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。 5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。（「情報関係基礎」については，P. 32を参照） 6 「理科①」については，2科目で1とします。 理科から1の場合は，(1)「理科①」から2科目，(2)「理科②」から1科目のいずれかかとします。理科から2の場合は，(3)「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目，(4)「理科②」から2科目のいずれかかとします。なお，(3)の場合は，同一名称を含む科目は選択できません。		
出願期間	令和元年12月17日(火)～20日(金)	
入試期日	令和2年1月25日(土)	
合格者発表日	令和2年2月10日(月) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
その他	個別学力検査は課さない。1校からの推薦者数は，3人以内 大学入試センター試験の再試験又は追試験を受験する者に対しては，入試期日を配慮するので，事前にその旨申し出ること	

〔学部・学科の入試における特色〕

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため，大学入試センター試験を課しています。

また，面接試験では，論理的思考力・表現力や関心の広さ，着眼点，学習意欲，問題意識などを評価します。

高校で履修しているどの授業も大事にし，幅広く学んでおくこと，さらに，豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

医学・推Ⅱ

実施学部	医 学 部	
入試種別	推 薦 入 学 Ⅱ (大学入試センター試験を課す選抜)	
実施学科及び募集人員	一般推薦 医 学 科 20人	地域枠推薦 医 学 科 28人 (岐阜県コース, 地域医療コース) (募集人員は設置認可申請予定の人数であり, 変更があり得ます。)
選抜の対象	次のいずれかに該当し, 出願要件のすべてを満たす者 a) 令和2年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者, あるいは平成31年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため, 平成31年4月1日以降, 学年の途中において, あるいは学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。) b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了見込みの者, あるいは平成30年4月から令和2年3月までに修了の者	
出願要件	人物及び学力が優秀であり, 志望学科に対する能力, 素質, 適性等について在籍(卒業)学校(教育施設)長が責任をもって推薦し, 合格した場合には入学することを確約できる者で, 次の要件を満たしていること。	人物及び学力が優秀であり, 岐阜県の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち, 能力, 素質, 適性等について在籍(卒業)学校長が責任をもって推薦し, 合格した場合には入学することを確約できる者で, 次の要件をすべて満たしていること。
	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者で以下のことを確約する者 ・入学後, 岐阜県医学生第1種修学資金を受給すること。 ・卒業後, 2年間の初期臨床研修を岐阜県内(地域医療コースは出身圏域)で行い, その後岐阜県内の医療機関等において一定の期間, 各コースにて指定されたプログラムで業務に従事(※1)すること。 地域医療コースは上記要件に加え, 対象市町村の出身者で, かつ当該市町村長の推薦を受けた者(※2)。
入試方法等	「令和2年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち, 本学部・学科が指定する教科・科目を受験した者	
	大学入試センター試験に基準点を設け, 基準点以上を得た受験者の中から, 推薦書, 志望理由書, 調査書, 大学入試センター試験の成績, 小論文及び面接により総合的に判定する。 ※それぞれの詳細な選抜方法等は, 推薦入学Ⅱ特別入試募集要項(11月下旬公表予定)を参照してください。 大学入試センター試験の基準点は, 一般推薦は配点の85%, 地域枠推薦は配点の80%です。	
	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 英 (5教科7科目) 注)「地理歴史, 公民」において, 2科目を受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。(第2解答科目の得点は一切採用しないため, 指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。)
出願期間	令和2年1月21日(火)～24日(金)	
入試期日	令和2年1月29日(水)・[30日(木) 志願者多数の場合の予備日]	
合格者発表日	令和2年2月10日(月)※大学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
その他	個別学力検査は課さない。	・個別学力検査は課さない。 ・1高等学校からの推薦者数は, 7人まで。 (※1) ・岐阜県医学生修学資金(第1種)を受給し, 卒業後一定の期間, 指定されたプログラムにより勤務することが要件。その場合, 修学資金の返還が免除される。 ・岐阜県医学生修学資金および返還免除条件については, 岐阜県の医学生修学資金Webページを参照してください。 (※2) ・地域医療コースの対象となる市町村など, 詳細については岐阜県の医学生修学資金Webページを参照してください。

[学部・学科の入試における特色]

大学入試センター試験で幅広い基礎学力を問い, 面接及び小論文により, 人間性豊かで表現力に富み, 優れたリーダーシップを発揮できる学生を選抜します。



実施学部	医 学 部
入試種別	推 薦 入 学 I (大学入試センター試験を課さない選抜)
実施学科及び募集人員	看 護 学 科 15 人
出願要件	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 令和2年3月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者
	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。
	学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、小論文（英語での出題含む。）及び面接により総合的に判定する。
出願期間	令和元年11月1日（金）～ 6日（水）
入試期日	令和元年11月16日（土）
合格者発表日	令和元年11月28日（木）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試センター試験及び個別学力検査は課さない。</li> <li>・1校からの推薦者数は、3人以内</li> </ul>

## 〔学部・学科の入試における特色〕

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な基礎学力の程度と、看護への強い関心・意欲・探求心など看護職者としての適性を調査書、小論文、面接により総合的に判断します。

工学・推Ⅱ

実施学部	工 学 部					
入試種別	推 薦 入 学 Ⅱ (大学入試センター試験を課す選抜)					
	普通・理数に関する学科			工業に関する学科		
学科及び募集人員	社会基盤工学科	環境コース 防災コース	10人	社会基盤工学科	環境コース 防災コース	2人
	機械工学科	機械コース	8人	機械工学科	機械コース	2人
		知能機械コース	5人		知能機械コース	2人
	化学・生命工学科	物質化学コース	12人	化学・生命工学科	物質化学コース	2人
		生命化学コース	6人		生命化学コース	2人
電気電子・情報工学科	電気電子コース	6人	電気電子・情報工学科	電気電子コース	2人	
	情報コース	8人		情報コース	2人	
		応用物理コース	4人		応用物理コース	1人
選抜の対象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の普通科又は理数に関する学科を、令和2年3月に卒業見込みの者、あるいは、平成31年3月卒業の者（外国の高等学校に留学したため、平成31年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者			次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の工業に関する学科を、令和2年3月に卒業見込みの者、あるいは、平成31年3月卒業の者（外国の高等学校に留学したため、平成31年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者		
出願要件	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たし、「令和2年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち、本学部が指定する教科・科目を受験するもの 学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上の者で、数学及び外国語のうち1教科の評点平均値、または理科（基礎系科目も含む）の1科目の評定平均値が4.0以上のもの					
総合学科在籍者の取扱い	工業に関する科目 25単位未満			工業に関する科目 25単位以上		
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入試センター試験の成績及び面接（口述試験等を含む）により総合的に判定する。					
	大学入試センター試験の利用教科・科目名					
	学科	教科	科目名等	学科	教科	科目名等
	社会基盤工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物 化、生、地学から1 英 (5教科7科目)	社会基盤工学科 機械工学科 電気電子・情報工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、情報から1 物 英 (4教科5科目)
	機械工学科 電気電子・情報工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物 化 英 (5教科7科目)	化学・生命工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、情報から1 化 英 (4教科5科目)
化学・生命工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、生から1 英 (5教科7科目)	注) 1 「国語」、「地理歴史」及び「公民」において複数の教科・科目を受験している場合は、最高得点の科目を採用します。 なお、「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。 また、「理科②」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。（第2解答科目の得点は一切採用しないため、指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。） 2 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこの科目を履修した者に限ります。（「情報関係基礎」については、P. 32を参照）			
	注) 「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。					
出願期間	令和2年1月21日（火）～24日（金）					
入試期日	令和2年2月1日（土）					
合格者発表日	令和2年2月10日（月）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。					
その他	個別学力検査は課さない。					
	1校からの推薦者数は、社会基盤工学科は学科で6人以内、その他の学科は各コース3人以内			1校からの推薦者数の制限は設けない		

## 〔学部・学科の入試における特色〕

高等学校の教育課程編成の違いに応じて、(1) 普通科又は理数に関する学科、(2) 工業に関する学科 の2種類の特別入試を行います。

いずれの入試も大学入試センター試験と面接により可否を判定します。それぞれの配点比率は(1)は950:200、(2)は400:400とし、高等学校における基礎学力の評価を行うとともに、面接により、受験者の工学に対する学修意欲・熱意・関心の程度などを重点的に評価します。大学入試センター試験の利用教科・科目は、(1)に一般入試と同じ5教科7科目、(2)に4教科5科目を課し、高等学校の教育課程編成の違いに配慮しています。

実施学部	応 用 生 物 科 学 部
入試種別	推 薦 入 学 Ⅰ (大学入試センター試験を課さない推薦入試)
実施課程及び募集人員	応用生命科学課程 3人 生産環境科学課程 5人
選 抜 の 対 象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 令和2年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の専門学科※ <sup>(1)</sup> 又は総合学科※ <sup>(2)</sup> を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程で専門学科※ <sup>(1)</sup> 又は総合学科※ <sup>(2)</sup> に相当する教育を受け、平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者
出 願 要 件	人物及び学力が優秀であり、志望課程に対する能力、素質、適正等について在籍高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)長又は文部科学大臣認定等在外教育施設の長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。 学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者
入 試 方 法 等	推薦書、志望理由書、調査書、小論文及び面接により総合的に判定する。 小論文及び面接は、主に理科に関する基礎的な学力を判定する内容を含む。
出 願 期 間	令和元年 11 月 1 日 (金) ～ 6 日 (水)
入 試 期 日	令和元年 11 月 11 日 (月)
合 格 者 発 表 日	令和元年 11 月 28 日 (木) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入試センター試験及び個別学力検査は課さない。</li> <li>・ 1校から推薦できる人数に制限は設けません。</li> <li>・ 入学予定者は、入学前に補習教育を行います。</li> </ul>

## 〔選抜の対象について〕

※(1)専門学科：ア 専門教育を主とする学科のうち農業等に関する学科に在籍する者とする。

イ ア以外の学科に在籍の志願者は、出願前に応用生物学部学務係へ問い合わせること。

ウ 普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。

※(2)総合学科：卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みの者とする。

(1)、(2)について、文部科学大臣認定等在外教育施設の高等部にあつては、専門学科又は総合学科に相当する教育を行う課程に在籍する者とし、志願者は出願前に応用生物学部学務係へ問い合わせること。

## 〔学部・課程の入試における特色〕

応用生命科学課程及び生産環境科学課程で実施しており、職業教育を主とする高等学校等において修得した成果を入学後さらに深め、生物資源の生産と活用、生態系や地球環境の保全、地域農業の指導等において、より高度な専門知識と技術を習得することに強い意志を有し、職業教育で得た経験を生かして優れたリーダーシップを発揮できる者を求めています。

応生・推Ⅱ

実施学部	応用生物科学部			
入試種別	推薦入学Ⅱ (大学入試センター試験を課す推薦入試)			
実施課程及び募集人員	応用生命科学課程 生産環境科学課程	10人 15人	共同獣医学科	4人
出願要件	<p>人物及び学力が優秀であり、志望課程・学科に対する能力、素質、適正等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当し、「令和2年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち、本学部・学科が指定する教科・科目を受験するもの</p> <p>a) 令和2年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者</p> <p>b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者</p>			
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入試センター試験の成績、小論文及び面接により総合的に判定する。			
	大学入試センター試験の利用教科・科目名			
	教科	科目名等	教科	科目名等
	<p>専門学科(農業等に関する学科等)・総合学科を卒業見込みの者</p> <p>数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1</p> <p>理 物基、化基、生基、地学基、物、化、生、地学から2</p> <p>外 英、独、仏、中、韓から1 (3教科5科目又は6科目)</p> <p>上記以外の者</p> <p>数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 物、化、生、地学から2</p> <p>外 英、独、仏、中、韓から1 (3教科5科目)</p> <p>注) 1 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者に限ります。(「情報関係基礎」についてはP.32を参照)</p> <p>2 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」を選択できる者は、高等学校等の専門学科<sup>※(1)</sup>又は総合学科<sup>※(2)</sup>を卒業見込みの者に限ります。基礎を付した科目については、2科目で1とします。</p> <p>(1) 基礎を付した科目から2科目及び基礎を付していない科目から1科目、(2) 基礎を付していない科目から2科目のいずれかとします。</p> <p>なお、(1)の場合は、同一名称を含む科目は選択できません。</p>	<p>国 国</p> <p>地歴 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B</p> <p>公民 現社、倫、政経、倫・政経 } から1</p> <p>数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 物、化、生、地学から2</p> <p>外 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)</p> <p>注) 「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p>		
出願期間	令和元年12月17日(火)～20日(金)			
入試期日	令和2年1月30日(木)・1月31日(金)			
合格者発表日	令和2年2月10日(月) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別学力検査は課さない。</li> <li>・1校から推薦できる人数に制限は設けません。</li> </ul>			

※(1) 専門学科：ア 専門教育を主とする学科のうち農業等に関する学科に在籍する者とする。  
イ ア以外の学科に在籍の志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。  
ウ 普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。

※(2) 総合学科：卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みの者とする。  
(1)、(2)について、文部科学大臣認定等在外教育施設の高等部にあつては、専門学科又は総合学科に相当する教育を行う課程に在籍する者とし、志願者は出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。

[学部・課程の入試における特色]

高等学校等において優れた学業成績を修めた者を対象に、高度な専門的知識と技術の習得や地域社会への貢献を目指す、意欲ある者を求めています。

## (2) 社会人特別入試

実施学部	地 域 科 学 部
入 試 種 別	社 会 人 特 別 入 試
実施学科及び募集人員	地域政策学科, 地域文化学科 2学科合計 2人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。 〕
出 願 要 件	<p>令和2年4月1日現在満年齢25歳に達し、5年以上の社会人経験(注1)を有し、次のいずれかの要件を満たしている者</p> <p>(注1)全日制の学校に在籍していた期間は含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間および家事・家業に従事していた期間は含みます。</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(注2)</p> <p>上記の③に該当する者は、次のとおりです。</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号)</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者[昭和23年文部省告示第47号(大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定)]</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(令和2年3月までに合格見込みの者を含む。)</p> <p>カ 大学入学資格検定に合格した者</p> <p>キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p>
入 試 方 法 等	小論文、面接及び出願書類により総合的に判定する。
出 願 期 間	令和元年10月8日(火)～11日(金)
入 試 期 日	令和元年11月16日(土)
合 格 者 発 表 日	令和元年11月28日(木) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	大学入試センター試験及び個別学力検査は課さない。

[学部・学科の入試における特色]

対象は、社会経験を積み、大学で学ぶ意欲のある社会人です。

小論文試験と面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価します。

幅広い豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

看護・社会人

実施学部	医 学 部
入試種別	社会人特別入試
実施学科及び募集人員	看護学科 3人
出願要件	<p>令和2年4月1日現在満年齢23歳に達し、3年以上の社会人経験(注1)を有し、次のいずれかの要件を満たしている者</p> <p>(注1)全日制の学校に在籍していた期間は含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間および家事・家業に従事していた期間は含みます。</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(注2)</p> <p>上記の③に該当する者は、次のとおりです。</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号)</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者[昭和23年文部省告示第47号(大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定)]</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(令和2年3月までに合格見込みの者を含む。)</p> <p>カ 大学入学資格検定に合格した者</p> <p>キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p>
入試方法等	志望理由書、履歴書、小論文(英語での出題を含む。)及び面接により総合的に判定する。
出願期間	令和元年11月1日(金)～6日(水)
入試期日	令和元年11月16日(土)
合格者発表日	令和元年11月28日(木)※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	大学入試センター試験及び個別学力検査は課さない。

[学部・学科の入試における特色]

社会人としての経験者を対象に、人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護実践能力と幅広い教養と豊かな人間性を身につけようとすることに強い意欲を有する者を求めています。アドミッションポリシーに沿って総合的に評価するために、小論文、面接を実施します。

(3) 帰国生特別入試

実施学部	地 域 科 学 部
入試種別	帰 国 生 特 別 入 試
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 1人 [ 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。 ]
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の外国勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国の正規の学校教育における12年の課程（日本における通常の課程における学校教育の期間を含む。）を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>ただし、12年の課程のうち、外国において最終学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から、国際バカロレア資格証書を平成30年から令和元年までに授与された者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成30年から令和元年までに取得した者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成30年から令和元年までに取得した者</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔3科目以上合格，評価E以上〕を平成30年から令和元年までに取得した者</p> <p>⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成30年から令和元年までに修了した者</p>
入試方法等	小論文，面接及び出願書類により総合的に判定する。
出願期間	令和元年10月8日（火）～11日（金）
入試期日	令和元年11月16日（土）
合格者発表日	令和元年11月28日（木）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	大学入試センター試験及び個別学力検査は課さない。

[学部・学科の入試における特色]

小論文試験，面接試験により，読解力や論理的思考力・表現力，関心の広さ，着眼点，学習意欲，問題意識などを評価します。

各自の学校で履修しているどの授業も大事にし，幅広く学んでおくこと，さらに，豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

## (4) 私費外国人留学生特別入試

実施学部等	教育学部	地域科学部	医学部医学科	工学部	応用生物科学部 応用生命科学課程 生産環境科学課程																		
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名																		
出願資格	<p>1 日本国籍を有しない者</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得できる見込みの者</p> <p>3 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭56年文部省告示第153号） ※「12年の課程」に日本の学校での期間が含まれる場合 日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校に在籍していた期間が通算して3年以内であり、かつ日本の高等学校に対応する外国の学校（日本にある外国人学校を含む。）を卒業した者</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔3科目以上合格、評価E以上〕を有する者</p> <p>⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p> <p>4 応用生物科学部については、次の要件を満たしている者</p> <table border="1" data-bbox="336 1301 1386 1518"> <thead> <tr> <th rowspan="2">課程等</th> <th colspan="3">日本留学試験</th> <th rowspan="2">TOEFL (CBT) ※2</th> </tr> <tr> <th>合計点 ※1</th> <th>「日本語」 ※1</th> <th>「日本語」の「記述」領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応用生命科学課程</td> <td>600点以上</td> <td>240点以上</td> <td>33点以上</td> <td>133点以上</td> </tr> <tr> <td>生産環境科学課程</td> <td>600点以上</td> <td>240点以上</td> <td>33点以上</td> <td>133点以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（備考） 1 ※1について、日本留学試験の「日本語」の「記述」領域の得点を除く。 2 ※2について、TOEFL ペーパーテスト版の成績の場合は450点以上、インターネットテスト版の成績の場合は45点以上</p>					課程等	日本留学試験			TOEFL (CBT) ※2	合計点 ※1	「日本語」 ※1	「日本語」の「記述」領域	応用生命科学課程	600点以上	240点以上	33点以上	133点以上	生産環境科学課程	600点以上	240点以上	33点以上	133点以上
課程等	日本留学試験			TOEFL (CBT) ※2																			
	合計点 ※1	「日本語」 ※1	「日本語」の「記述」領域																				
応用生命科学課程	600点以上	240点以上	33点以上	133点以上																			
生産環境科学課程	600点以上	240点以上	33点以上	133点以上																			
入試方法等	次ページのとおり																						
実施学部等	教育学部	地域科学部	医学部医学科	工学部	応用生物科学部																		
出願期間	令和元年 12月25日（水） ～ 12月27日（金）	令和元年 12月23日（月） ～ 12月25日（水）	令和2年 1月6日（月） ～ 1月8日（水）	令和2年 1月6日（月） ～ 1月8日（水）	令和2年 1月6日（月） ～ 1月8日（水）																		
入試期日	令和2年 1月24日（金）	令和2年 1月25日（土）	令和2年 1月29日（水）	令和2年 2月1日（土）	個別学力検査は課さない （渡日前入学許可）																		
合格者発表日	令和2年3月6日（金）	令和2年2月10日（月）																					

※合格者発表は本学のホームページにて行います。合格者の受験番号の掲示発表は行いません。



## 入試方法等について

学部	課程・学科・講座(専攻)	日本留学試験					個別学力検査等				TOEFL	渡日前入学許可制度の有無						
		文系	理系	数学のコース	理科の科目選択	基礎学力出題言語	成績利用	小論文	学科試験	面接			実技検査					
教育学部	学校教育 教員養成 課程	国語教育	○	1又は2	/	日本語 又は 英語 (自由選択)	令和元年 6月実施 分(第1回) 若しくは 11月実施 分(第2回) のうち、 どちらか 1回分の 成績利用	○	×	○ (日本語)	×	○	無					
		社会科教育(史学)						○	2		2科目 自由選択			×	○数学	×		
		社会科教育(地理学)												○	×	×		
		社会科教育(現代社会)												○	×	○		
		学校教育(教職基礎コース)												○	×	○		
		学校教育(心理学コース)												○	×	○		
		特別支援教育												○	×	○		
		数学教育												○	×	○		
		理科教育(物理学)												○	×	○		
		理科教育(化学)												○	×	○		
		理科教育(生物学)												○	×	○		
		理科教育(地学)												○	×	○		
音楽教育	○	1又は2	/	日本語 又は 英語 (自由選択)	令和元年 6月実施 分(第1回) 若しくは 11月実施 分(第2回) のうち、 どちらか 1回分の 成績利用	×	×			○ (日本語)		○	無					
美術教育	○	2	2科目 自由選択			○	×	×										
保健体育	○	2	2科目 自由選択			○	×	×										
技術教育	○	1又は2	/			○	×	×										
家政教育	○	1又は2	/			○	×	×										
英語教育	○	1又は2	/			○	×	×										
地域政策学科	地域文化学科 (入試は学部単位で実施)	文系 又は 理系	1又は2			理科の場合 2科目 自由選択	日本語 又は 英語 (自由選択)	令和元年 6月実施 分(第1回) 若しくは 11月実施 分(第2回) のうち、 どちらか 1回分の 成績利用	○		×	○ (日本語)		×	無			
地域文化学科									○		×			○		×		
医学部	医学科	/	○			2	2科目 自由選択	日本語	○		×	○ (日本語)		○	無			
工学部	社会基盤 工学科	環境コース 防災コース	○			2	2科目 自由選択	日本語	平成30及 び令和元年 の6月実施 分(第1回) 若しくは 11月実施分 (第2回) のうち、 いずれか 1回分の 成績利用		×	○ 数学		○ (日本語)	○	無		
											機械 工学科	機械コース 知能機械コース			○		×	○
															化学・生命 工学科		物質化学コース 生命化学コース	○
				電気電子・ 情報 工学科	電気電子コース 情報コース 応用物理コース					○			×					○
応用生物科学部	応用生命科学課程	/	○	1又は2	化学指定 物理又は 生物から 1科目選択	日本語	令和元年 6月実施 分(第1回) 若しくは 11月実施分 (第2回) のうち、 いずれか 1回分の 成績利用	×	△	有								
	生産環境科学課程	/	○	2	2科目 自由選択	日本語		×										

(備考)

## 1 全学部該当する事項

- 印は入試の対象とすること、×印は入試の対象としないこと、△印は出願要件の対象とすることを示します。
- 上記の各試験の成績により総合的に判定します。
- 「日本留学試験」の取扱いについて

## a 利用科目について

表中「文系」は、「日本語」、「総合科目」、「数学」を受験することを示します。

表中「理系」は、「日本語」、「理科」、「数学」を受験することを示します。

## b 「数学のコース」欄について

「コース1」は、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用です。「1」は、これを受験することを示します。

「コース2」は、数学を高度に必要とする学部用です。「2」は、これを受験することを示します。

## 2 教育学部に該当する事項

小論文及び実技検査の内容は、講座(専攻)により異なります。

※印：英語教育講座の実技検査は、英語により英語4技能による検査を行います。

## 3 地域科学部及び応用生物科学部に該当する事項

日本留学試験の日本語の得点は、「読解」及び「聴解・聴読解」の2領域を使用します。

## 4 医学部医学科及び工学部に該当する事項

日本留学試験の日本語の得点は、「記述」、「読解」及び「聴解・聴読解」の3領域を使用します。

## Ⅶ 学生募集要項・大学（学部）案内の入手方法等

### 1. 学生募集要項の配布等時期

名 称	配布等時期(予定)	略 称	備 考
一般入試学生募集要項	11月下旬	一般募集要項	冊子での配布は行いません。 時期になりましたらHP上に電子 ファイルを掲載しますので、各自 でダウンロードしてください。 (表紙裏参照)
推薦入学Ⅱ特別入試(センター試験 を課す)学生募集要項		推薦Ⅱ募集要項	
推薦入学Ⅰ特別入試(センター試験 を課さない)学生募集要項	7月下旬	推薦Ⅰ募集要項	合冊(地域科学部, 医学部看護学科, 応用生物科学部)
社会人特別入試学生募集要項		社会人募集要項	
帰国生特別入試学生募集要項		帰国生募集要項	
私費外国人留学生特別入試学生募集要項	11月下旬	私費外国人募集要項	全学部共通

### 2. 郵便による募集要項の請求方法

略 称	返信用封筒と郵送料	請 求 方 法
推薦Ⅰ募集要項	角形2号 (縦33.2cm× 横24.0cm)	返信用封筒に郵送料分の切手を貼り、住所・氏名及び 連絡先の電話番号(本学から問い合わせが必要な場合に のみ使用します。)を記入し、これを折りたたんで定形 内の封筒に入れ、請求先へ請求してください。 その際に、あて先の左側に「××募集要項請求」と朱 書きしてください。
社会人募集要項		
帰国生募集要項		
私費外国人募集要項		

### 3. 郵便による大学（学部）案内の請求方法

名 称	請 求 先	返信用封筒と郵送料	請 求 方 法	
岐阜大学案内・東海国立 大学機構パンフレット	学務部入試課	角形2号 (縦33.2cm ×横24.0cm)	次ページの発送代行サイト による請求方法をご利用いた だくか、郵便による募集要項 の請求方法と同じ要領で返信 用封筒を作成して請求してく ださい。	
教育学部案内	教育学部学務係			300円 (ゆうメール)
地域科学部案内	地域科学部学務係			140円
医学部・医学科案内	医学部医学科学務係			140円
医学部・看護学科案内	医学部看護学科学務係			140円
応用生物科学部案内	応用生物科学部学務係			140円

※工学部案内は発行していません。学科別のパンフレットを発行していますので、希望される方は工学部ホームページで請求方法をご確認ください。

### 4. 請求先

志望学部等	担 当 係	電話番号(直通)	所 在 地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2359, 2206	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3025, 3009	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3409, 2838	
医学部	医学科	058-230-6077, 6075	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
	看護学科	058-293-3217, 3218	

○郵送のほかに、窓口でも交付しています。パソコンやスマートフォンから発送代行サイトへアクセスし請求する方法が便利です。

### 5. ホームページでの入試情報サービス

<https://www.gifu-u.ac.jp/>

詳しい資料の入手方法やその他の入試情報を掲載しています。

岐阜大学のホームページ「入試案内」又は「入試最新情報」等をご覧ください。

また、募集要項(本文)等を電子ファイルにて閲覧することができます。※PDFを用いたファイルの閲覧には、アクロバット・リーダーが必要です。

### ホームページ上の入試情報

掲載開始時期	内 容
6月	オープンキャンパスの案内
7月	選抜要項等を取り寄せる方法
11月	各募集要項の入手方法
12月	インターネット出願サイトの案内
2月	出願受付状況・合格者発表(推薦入学Ⅱ・私費外国人留学生特別入試)
3月	合格者発表(一般入試)・追加合格の実施の有無

※合格者の受験発表の掲示発表は行いません。

## 6. 発送代行サイトを利用した岐阜大学案内・各学部案内の請求方法

### a 大学のホームページからアクセスする場合

大学のホームページから「テレメール」又は「モバっちょ」へアクセスして資料請求ができます。

料金は資料到着後の後払いです。

詳しくは、岐阜大学のホームページをご覧ください。（入試案内>大学（学部）入試情報>資料請求）

パソコンのほかにスマートフォン、携帯電話からもアクセスできます。

### b テレメールを利用した請求方法

「岐阜大学案内・東海国立大学機構パンフレット」「各学部案内」（工学部は学科別のパンフレットのみ）が請求できます。

[受付期間]（発送開始前の申込は、予約受付となります。）

- ・「岐阜大学案内・東海国立大学機構パンフレット」「各学部案内」→平成31年4月上旬から

[発送開始時期]

- ・「岐阜大学案内・東海国立大学機構パンフレット」「各学部案内」→令和元年7月下旬から

[請求手順]

- ① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

 テレメール	インターネットの場合 (パソコン・スマホ・ケータイ)	電話の場合	
	<a href="https://telemail.jp">https://telemail.jp</a>	※IP 電話	自動音声応答電話 <b>050-8601-0101</b> (24時間受付)
スマホ・ケータイで右のQRコードからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。			

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

：住所氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

- ② 次に請求を希望する岐阜大学の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	発送開始（予定）時期
大学案内・東海国立大学機構パンフレット	5 6 3 6 5 2	7月下旬
教育学部案内	5 6 3 6 7 2	7月下旬
地域科学部案内	5 6 3 6 8 2	7月下旬
医学部医学科案内	5 6 3 6 9 2	7月下旬
医学部看護学科案内	5 4 3 6 6 2	6月下旬
工学部 機械工学科パンフレット	9 5 3 2 8 2	6月下旬
工学部 化学・生命工学科パンフレット	9 5 3 2 9 2	6月下旬
工学部 電気電子・情報工学科パンフレット	9 5 3 3 0 2	6月下旬
応用生物科学部案内	5 6 9 8 7 2	4月下旬

- ③ あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※資料は発送日からおおむね3～4日で届きます。ただし、お届け地域や郵便事情によっては、お届けに1週間

ほど要する場合があります。随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から2週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※料金のお支払いは、資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です。(コンビニ支払いは86円、ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは150円、窓口扱いは200円、ケータイ払い及びクレジットカード払いは50円。) また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

株式会社フロムページ「テレメールカスタマーセンター」



I P 電話 (050) 8601-0102

(受付時間9:30~18:00)

#### c モバっちょを利用した請求方法

「岐阜大学案内・東海国立大学機構パンフレット」のみが請求できます。

下記のいずれかの方法でアクセスし、請求してください。

パソコンから請求する	携帯電話, スマートフォンから請求する
<a href="https://djc-mb.jp/gifu-u/">https://djc-mb.jp/gifu-u/</a>	右のQRコードからアクセスする。
	

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についての問い合わせ先

大学情報センター株式会社 「モバっちょカスタマーセンター」

TEL : 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

#### 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。



# 岐阜大学 令和2年度入試の変更点（特記事項）

## ○教育学部

### 【前期日程，後期日程，推薦入学Ⅱ】

- ・「特別支援学校教員養成課程」に係る教育課程を学校教育教員養成課程に移行し，「特別支援教育講座」に変更  
 …… P. 4, P. 10, P. 12, P. 17, P. 29, P. 35, P. 47

### 【推薦入学Ⅱ】

- ・出願要件について一部変更。  
 「岐阜県内の教員として活躍したいという確たる志望理由があること」に変更 …… P. 35

## ○医学部医学科

### 【前期日程，後期日程，推薦入学Ⅱ】

- ・募集人員等について変更 …… P. 4, P. 5, P. 12, P. 13, P. 18, P. 38

### 【推薦入学Ⅱ】

- ・選抜の対象について一部変更  
 一般推薦において，通常の卒業見込みの者に加え，前年度に卒業した者の出願も認める …… P. 38

## ○医学部看護学科

### 【前期日程，推薦入学Ⅰ】

- ・募集人員等について変更 …… P. 4, P. 12, P. 18, P. 39

### 【推薦入学Ⅰ】

- ・1校からの推薦者数を変更 …… P. 39

## ○工学部

### 【前期日程，後期日程，推薦入学Ⅱ】

- ・募集人員等について変更 …… P. 4, P. 12, P. 19, P. 20, P. 40

### 【推薦入学Ⅱ】

- ・出願要件について一部変更  
 評定平均値の対象について，理科の取扱いを変更 …… P. 40
- ・配点比率について変更  
 「普通科・理数に関する学科」の面接の配点を変更 …… P. 41

## ○地域科学部

### 【帰国生特別入試】

- ・出願要件について一部変更  
 「18歳に達するもの」とする年齢要件を撤廃  
 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者の出願も認める …… P. 45

## ○応用生物科学部

### 【前期日程，推薦入学Ⅰ，推薦入学Ⅱ】

- ・募集人員等について一部変更  
 推薦入学Ⅰにおいて，スーパーサイエンスハイスクール・理数科枠を廃止。 …… P. 4, P. 13, P. 21

## ○教育学部，地域科学部，医学部医学科，工学部，応用生物科学部（応用生命科学課程，生産環境科学課程）

### 【私費外国人留学生特別入試】

- ・出願要件について一部変更  
 「18歳に達するもの」とする年齢要件を撤廃  
 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者の出願も認める …… P. 46

## 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除について

岐阜大学では，平成28年熊本地震，平成30年7月豪雨，平成30年北海道胆振東部地震により被災した入学志願者に対して検定料免除の特別措置を行います。詳細は岐阜大学のホームページを参照してください。

## <問い合わせ先一覧>

志望学部等	担当係	電話番号（直通）	所在地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2359, 2206	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3025, 3009	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3409, 2838	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
医学部医学科	医学部医学科学務係	058-230-6075, 6077	
医学部看護学科	医学部看護学科学務係	058-293-3217, 3218	

月曜日～金曜日（年末年始・祝日等を除く。）9：00から17：00まで

岐阜大学ホームページ <https://www.gifu-u.ac.jp/>